

Joie™

適合基準：ECE R44,04 Group 1/2/3

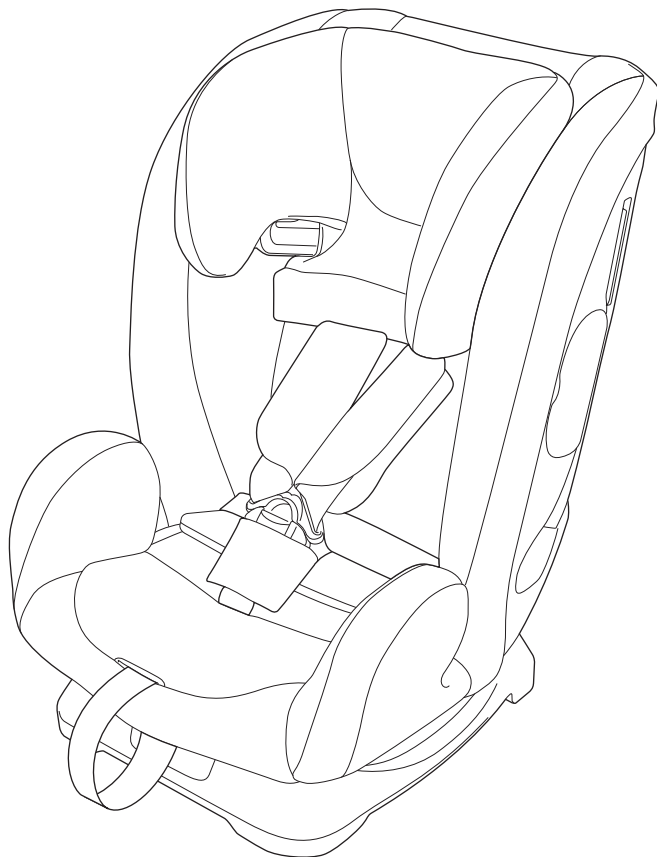
適応体重：9kg-36kg

年齢の目安：1歳頃から12歳頃まで

fortifi™

フォーティファイ

取扱説明書／保証書

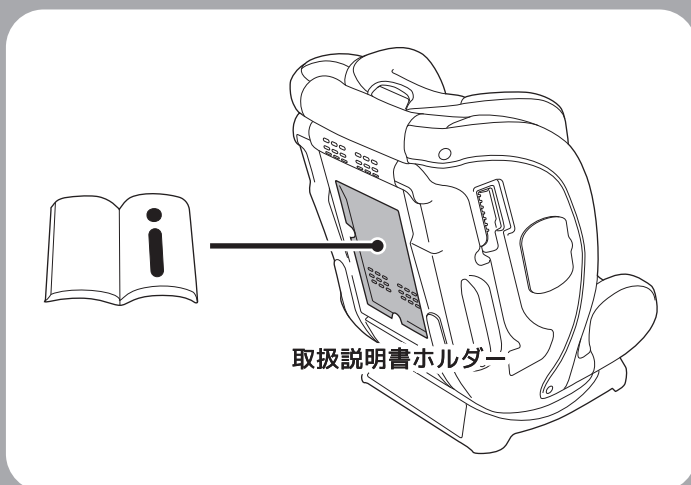




この度は、ジョイー 製品をお求めいただき、誠にありがとうございます。
本製品は、自動車の座席で使用するチャイルドシートです。

本製品は、ECE R44,04基準に適合するチャイルドシート製品ですが、使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

安全に本製品をご使用いただくため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分にご理解した上でご使用ください。本取扱説明書は、本製品背面の取扱説明書ホルダーまたは本製品のカバーの内部に大切に保管し、必要なときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。



3点式シートベルトをご確認ください。

本製品は、自動車の3点式シートベルトで座席に固定するチャイルドシートです。お車に3点式シートベルトが装備されていることをご確認ください。3点式シートベルトは、自動車の製造年月日やメーカー、車両の種類によってデザインや長さが異なる場合があります。

このチャイルドシートは、UN ECE R16または、これと同等の規格に準拠した3点式リトラクター・セーフティーベルトが装備され、かつ本製品の適合が確認された車両、座席でのみ使用できます。

このチャイルドシートは、UN ECE R44,04の一連の改訂版に準拠しています。

このチャイルドシートは、3点式シートベルトのみで使用可能であり、2点式シートベルト、4点式シートベルト、5点式シートベルトでは使用できません。

もくじ

はじめにお読みください	4
ユーザー登録のお願い	4
正しい使用	4
チャイルドシート・ジュニアシートについて	4
使用に関するアドバイス	5
適合する自動車の座席について	5
本製品の情報	5
緊急時の対応	6
表記の説明	6
内容物の確認	7
各部の名称	8
使用できるお子さまの条件	9
自動車座席に関して	10
使用可能な座席の位置と向き	10
シートベルトの使用	10
使用できない座席	11
使用上の注意事項	13
基本的な使いかた	21
サイドインパクトシールドの使いかた	21
リクライニングの使いかた	22
バックルの使いかた	23
肩ベルト（ハーネス）の長さ調節	24
ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節	25
トドラーモードの使いかた	26
取り付けかた	26
お子さまの乗せかた	31
ブースターモードの使いかた	36
ブースターモードへの切り替えかた	36
肩ベルトの高さ調節	40
サイドウイング機能	41
お子さまの乗せかた	42
お手入れのしかた	48
カバー類、パッド類の取り外し	49
カバー類、パッド類のお手入れ	55
本体（シート）のお手入れ	56
抗菌・抗ウイルス製品の使用にあたっての注意	57
保管のしかた	57
廃棄のしかた	57
保証書	

はじめにお読みください

本製品は、ECE R44,04 基準に適合するチャイルドシートです。

体重 9kg-36kg（目安年齢 1 歳頃から 12 歳頃まで）のお子さまに使用することができます。

本製品は、UN ECE R16 または、これと同等の規格に準拠した自動車の 3 点式リトラクター・セーフティーベルト（3 点式シートベルト）を使用します。

トドラーモード（体重 9kg-18kg まで）では、本製品を自動車の座席に 3 点式シートベルトで固定して、お子さまは本製品のハーネスを装着して使用します。

ブースターモード（体重 15kg-36kg）では、本製品を自動車の座席に寄せ、お子さまを着座させた上で 3 点式シートベルトを装着して使用します。

ユーザー登録のお願い

チャイルドシートをご使用いただくにあたって、国土交通省推奨によるユーザー登録へのご協力をお願いいたします。本製品は、日本国内で使用を認められているチャイルドシート基準である ECE 基準に適合しています。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適さない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。

このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお願いしています。

お預かりしたお客様の個人情報、弊社が管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的以外には利用いたしません。

正しい使用

本製品が、所定の安全性能を発揮するように、本書および本体の表記の指示に従って、正しく自動車の座席に取り付けて、正しい方法で使用してください。

チャイルドシートについて

本製品は、万が一の交通事故の際や自動車の急制動（急発進・急停止・急なハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としているものであり、お子さまを交通事故や急制動により生じる負担や衝撃から無傷で守る事を保証する製品ではありません。

また、本製品を正しく使用しないと、交通事故や急制動時に本製品が所定の性能を発揮できないばかりか、本製品が動くなどして、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

本製品を使用するにあたっては、本取扱説明書の記載内容および本製品本体の表記、ならびにお使いになるお車の取扱説明書の指示を理解し、その内容に従って、常に正しくご使用ください。

また、どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、本製品を常に正しくご使用いただくとともに慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

使用に関するアドバイス

お子さまのチャイルドシートの使用を習慣付けるようにしてください。

また、大人の方も必ずシートベルトを着用するようにしてください。

長距離を走る場合、最低でも 1 時間おきに休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげるようにしてください。

本製品にはお子さまの成長、発達、着衣の状態に応じて調節できる部位、部品があります。

常にお子さまの体型や着衣の状態に応じて適切に調節するように心がけてください。

事故時や緊急事態には、お子さまを直ちに応急処置し、医療機関にご相談ください。

適合する自動車の座席について

本製品は、すべての自動車、座席において使用できるとは限りません。

以下のホームページに記載の適合車種一覧をご確認いただくか、本取扱説明書末尾に記載の弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

なお、適合車種一覧は適宜更新しています。

カトージ ホームページ

katoji.co.jp

本製品の情報

本製品は、UN 規則 R44,04 シリーズによって認証された、ユニバーサル・チャイルドシートです。自動車内での使用が認められており、多くの自動車において使用可能ですが、すべての自動車、座席での使用が可能とは限りません。

自動車の取扱説明書において、本製品の年齢グループ用の「ユニバーサル」チャイルドシートが使用可能と記載されている場合、本製品を正しく取り付けて使用できる可能性があります。

本製品は「ユニバーサル」に分類されるチャイルドシートであり、これ以前に設計されたチャイルドシートよりも厳しい条件を満たしています。

本製品の取り付け、使用に関して疑問がある場合は、お買い求めになった販売店または当社お客様サービスまでご連絡ください。

製品の区分	: チャイルドシート
モデル No.	: C1209
適応体重	: 体重 9kg-36kg (目安年齢: 1 歳頃 ~12 歳頃)
質量グループ	: 1/2/3
原材料	: プラスチック / 金属 / 縫製品
パテント No.	: 特許出願中

緊急時の対応

交通事故などの緊急時には、本製品を使用しているモードに応じて、あわてず本製品のバックル／ハーネスまたは自動車のシートベルトのシートバックルを操作して、ハーネスまたはシートベルトを外し、速やかにお子さまを自動車外に脱出させて、直ちにお子さまの応急処置を行い、医師の診断を受けるようにしてください。

お子さまの脱出の際には、ハーネス、シートベルトに絡まないように注意してください。衝撃の影響などによってバックルが外れない場合は、市販のシートベルトカッターなどを使用してハーネスまたはシートベルトを切断してお子さまを脱出させてください。

表記の説明

本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意・留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しています。

この表記に付随して記載されている内容を無視すると、本製品をご使用になるお子さまや保護者の方、また、周りにいる方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、必ずこれらの内容を十分に理解した上でご使用ください。

危険・警告・注意の表記について

表記	表記の内容
 危険	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。
 警告	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至ることがあり得ることを示します。
 注意	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

強調・禁止の表記について

表記	表記の内容
	この表示に付随して記載されている事柄は、正しい状態にあることを示します。
	この表示に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあること、または禁止されていることを示します。

ポイントの表記について

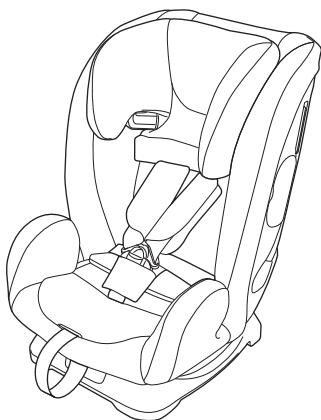


ポイント!

この表示に付随して記載されている事柄は、本製品をご使用いただくにあたって知っておいて頂きたい重要な情報や、本製品をより便利にご使用いただくための情報です。

内容物の確認

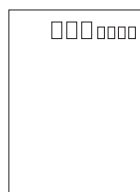
本製品には、次のものが同梱されています。すべてのものが揃っていることを確認してください。万が一、足りないもの、破損しているものがある場合、そのままご使用にはならず、大変お手数ですが、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。



本体



本書



ユーザー登録はがき

本製品では、使用するモードの切り替え時やお手入れの際に、シートのカバー類やパッド類を取り外すことができます。シートのカバーやヘッドレストのカバー、肩ベルトパッド、股ベルトパッドを紛失しないようにご注意ください。これらのカバー類やパッド類は本製品を構成する重要な安全部品ですので、本書において特に指示がない限りは取り外した状態で使用したり、他のもので代用することはできません。紛失、破損の際には本製品の使用を中止して、お買い求めの販売店または巻末の保証書欄に記載されたお客様サービスまでお問い合わせください。

⚠ 警告

窒息のおそれがあります

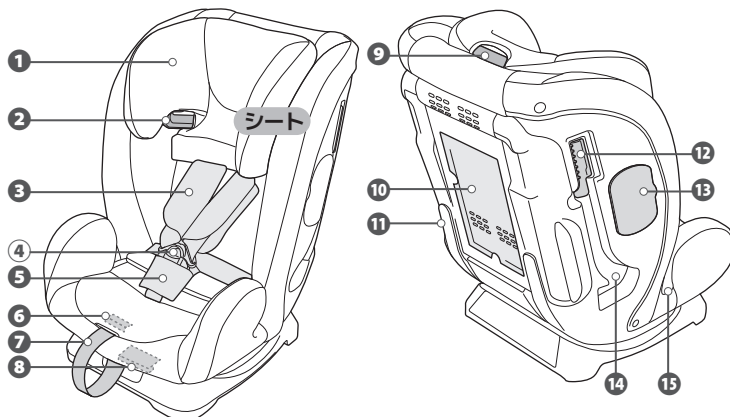
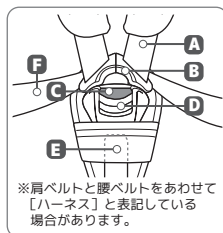
お子さまがかぶり窒息するなど重大な事故につながるおそれがありますので、本製品を梱包しているビニール袋類は開梱後、直ちに破るなどした上で、お子さまの手の届かないところに廃棄してください。

各部の名称

本製品の各部の名称

本取扱説明書においては、本製品の各部位、各部品について、次の通りの名称を用いています。本取扱説明書の記載内容の部位、部品に関して、必要に応じてご確認ください。

④バックル／ハーネス



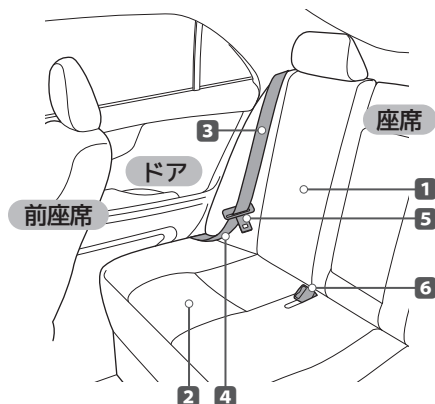
- ①ヘッドレスト
- ②肩ベルトガイド
- ③肩ベルトパッド
- ④バックル／ハーネス
- ⑤股ベルトパッド
- ⑥ベルトアジャスター
- ⑦アジャストベルト
- ⑧リクライニングレバー

- ⑨ヘッドレストアジャストレバー
- ⑩取扱説明書ホルダー
- ⑪肩ベルトパス
- ⑫ロックオフデバイス
- ⑬サイドインパクトシールド
- ⑭バックスロット
- ⑮シートスロット

- ④バックル／ハーネス
- ① 肩ベルト（ハーネス）
- ② 差込タング
- ③ バックルボタン
- ④ 受けバックル
- ⑤ 股ベルト
- ⑥ 腰ベルト（ハーネス）

自動車に関わる各部の名称

本取扱説明書においては、本製品を取り付ける自動車の座席の部位、部品に関して言及している箇所があります。本取扱説明書において、自動車の部位、部品については以下の通りの名称を用います。



- ①（座席）背もたれ
- ②（座席）座面

- シートベルト（3点式シートベルト）
- ③肩ベルト
- ④腰ベルト
- ⑤シートタング
- ⑥シートバックル

ポイント！

お車の取扱説明書（オーナーズマニュアル）においては、別の名称で記載されている場合があります。必要に応じて、左図を参照し、お車の取扱説明書の表記と照合するようにしてください。

使用できるお子さまの条件

本製品を使用できるお子さまの範囲と条件は、本製品の適合するチャイルドシートの基準（ECE R44,04）によって定められています。

使用するモードによって、それぞれ使用可能な範囲が異なります。

それぞれの範囲にあてはまらない、また、本取扱説明書に記載されている条件に適合しない場合は本製品を使用しないでください。

⚠危険

条件に当てはまらない場合は使用しないこと

各モードで定められた使用可能な条件をお守りください。条件に満たない、または超えての使用は大変に危険です。

トドラーモード



使用する向き	自動車の進行方向に対して前向き
座席への取り付け方法	3点式シートベルト
お子さまの固定方法	本製品のハーネス
使用可能なリクライニング	1～4

使用可能なお子さまの条件

体重 : 9kg-18kgまで

目安年齢 : 1歳頃から4歳頃まで使用可能※

※年齢は目安となります。使用の可否は体重で定められています。

ブースターモード



使用する向き	自動車の進行方向に対して前向き
座席への取り付け方法	3点式シートベルト
お子さまの固定方法	3点式シートベルト
使用可能なリクライニング	1～4

使用可能なお子さまの条件

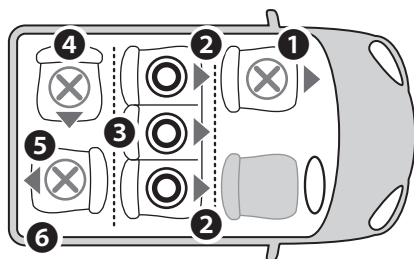
体重 : 15kg-36kgまで

目安年齢 : およそ3歳から12歳頃まで使用可能※

※年齢は目安となります。使用の可否は体重で定められています。

自動車の座席に関して

使用可能な座席の位置と向き



- | | |
|------------------|---------------------|
| ① 助手席 | ×使用不可 ^{※1} |
| ② 2 列目左右ドア側席 | ○使用可能 |
| ③ 2 列目中央席 | ○使用可能 ^{※2} |
| ④ (進行方向) 横向きの座席 | ×使用不可 |
| ⑤ (進行方向) 後ろ向きの座席 | ×使用不可 |
| ⑥ 3 列目以降の座席 | ○使用可能 ^{※2} |

※1：使用できません。より安全な後部座席での使用をお勧めします

※2：3 点式シートベルトが装備されている座席であれば使用できる可能性があります

自動車側においてチャイルドシートやブースターシートの使用に関して、条件等が指定されている場合がありますので、自動車の取扱説明書を併せてご確認ください。

本製品が使用できる車種、座席の情報に関しては、適合車種一覧で確認していただけます。

カトージ ホームページ

katoji.co.jp

⚠危険

使用の可否の条件を守ること

上記の座席すべてで使用可能とは限りません。

上記は、座席の位置と向きについて使用の可否を記載したものです。この位置と向きであり、かつその他の条件を満たした座席でのみ使用可能です。

シートベルトの使用

本製品では、すべてのモード（トドラーモード、ブースターモード）において自動車の 3 点式シートベルトを使用します。2 点式シートベルトや 5 点式シートベルトの座席、シートベルトが装備されていない座席では使用することができません。

また、年式の古い車両においては、3 点式シートベルトでも、シートベルトの仕様により本製品を使用できない可能性があります。本製品は、ALR（ELR に切り替え不可のタイプ）方式および NR 方式のシートベルトには対応しておりません。

使用できない座席

本製品は、すべての自動車、すべての座席で使用できるものではありません。本製品を取り付け、使用できる自動車、座席の情報については、お車の取扱説明書と適合車種一覧を参照してください。

⚠危険

以下に示す座席では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

3点式シートベルト以外の座席

シートベルトが装備されていない座席はもちろん、2点式、4点式、5点式シートベルトでは使用できません。必ず3点式シートベルトの装備された座席で使用してください。

本製品は、ECE-R16 またはこれと同等の基準に準拠した3点式シートベルトで使用することができます。



助手席

当社では助手席でのチャイルドシートの使用は推奨しておりません。事故や衝撃を受けた際にお子さまがダッシュボードにぶつかったりするほか、通常使用時においても運転に支障をおよぼすおそれがありますので、より安全な後部座席に取り付けて使用してください。

適合車種一覧で取り付け不可または使用不可となっている車種、座席

本製品の適合車種一覧で、取り付け、使用不可となっている車種または特定の座席（車種が適合していても、すべての座席で取り付け、使用可能とは限りません）では使用できません。ご購入前に適合車種一覧をご確認ください。

本製品を安定して設置できない座席

極端な凸凹がある座席や幅や奥行きが極端に狭い座席、極端に傾斜した座席やドアやコンソールなど座席以外の構造物に本製品が接触する座席、自動車の座席の可動操作に干渉する座席では、本製品が安定しないため取り付けしないでください。また、適合車種でも限定モデルや中古車の場合には、特殊な座席が付いていたり、座席そのものが交換されている場合もあります。これらの場合、適合車種一覧での取り付け可否に関わらず、本製品を安定して設置できないこともあります。



安定しない座席や、座席やドアの開閉に干渉する座席

安定しない座席や取り付け時に本製品の角度に異常が生じる座席、可動式の座席で座席を動かした際に本製品に干渉する座席、自動車のドアの開閉時に干渉する座席では使用しないでください。

本製品の取り付け操作中に移動する座席

本製品の取り付け操作中に動く座席には取り付けしないでください。

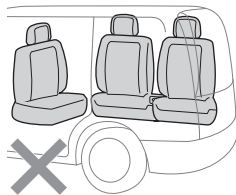
⚠危険

以下に示す座席では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

進行方向に対して前向き以外の座席

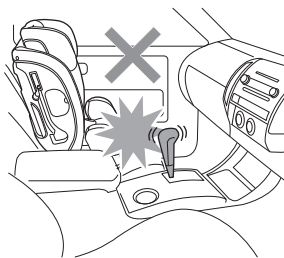
本製品は、車の進行方向に向かって前向きの座席でのみ使用することができます。車の進行方向に向かって後ろ向きや横向きの座席では使用できません。

また、車の進行方向に向かって前向きでも、補助席などの特別な座席、バス、電車、飛行機、船などの座席では使用しないでください。本製品は、車種適合表において取り付け可能と指定されている車種、座席でのみ使用可能です。



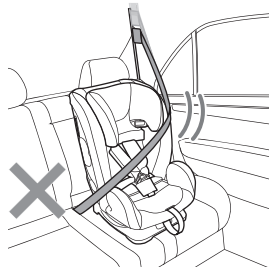
本製品を使用することによって運転、操作に支障をきたす座席

本製品を使用すると、ドアミラーが見えにくくなる座席やサイドブレーキやシフトレバー、ハンドル、ウインカーなどの操作に影響を与えて自動車の安全な運転操作に支障をきたすおそれのある座席では使用できません。本製品は後部座席で取り付け、使用してください。



パッシブシートベルトが装備された座席

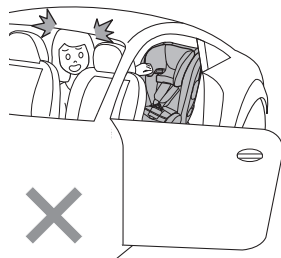
ドアを閉めると自動的にシートベルトが装着されるパッシブシートベルトが装備された座席では、本製品を使用できません。



乗員の脱出に影響を与える座席

片開きドアのワンボックスカーのドア側の座席など、本製品を使用することにより、他の乗員が緊急時に自動車から脱出しにくくなるおそれがある座席では使用しないでください。

実際に本製品を使用する前に緊急時を想定して、使用しようとする座席の上に本製品を置き、その状態で、すべての座席から他の乗員が容易に乗降できるかどうか、また、緊急時にお子さまを迅速に脱出させることができるかをあらかじめ確認してください。



使用上の注意事項

本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。

ここでは、本製品をお使いいただくにあたって、注意していただきたい重要な事柄や、「してはならない」重要な禁止事項について説明しています。

⚠危険

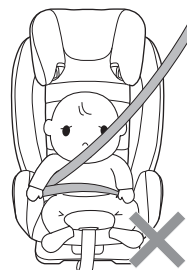
以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

使用条件（体重 9kg から 36kg まで）を厳守すること

本製品は、適合する基準により使用できる条件が定められています。本製品は、体重 9kg から 36kg までのお子さまが使用できます。

この使用条件を守らないと、本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

目安としては、1 歳頃から 12 歳頃までのお子さまにご使用いただけます。



正しく自動車の座席に固定して適切に使用すること

本製品を適切に使用しないと、急カーブ、急停止、衝突などの衝撃を受けた際に思わぬ事故につながるおそれがあります。

本取扱説明書および本製品の本体に記載されている指示、ならびに本製品を取り付ける自動車の取扱説明書の内容を理解し、その指示に従ってのみ適切に使用することができます。

本製品では、使用するモード（トドラーモード、ブースターモード）により自動車の座席への固定方法が異なりますので、それぞれのモードに応じて正しく適切に固定するようにしてください。

本製品の取り付け、設置場所に注意すること

本製品を取り付け、設置する場所によっては、お子さまが可動式の座席や自動車のドアに挟まれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。あらかじめ安全を確認しておいてください。

取扱説明書および本製品に記載の指示に従うこと

重大な事故につながるおそれがありますので、本書の指示にない使いかたはしないでください。本書および製品本体に記載する方法以外での取り付け、使用はしないでください。

本製品は取扱説明書および自動車の取扱説明書の内容を理解した大人の方が操作すること

本製品を誤った状態で使用すると、お子さまばかりか、他の乗員の方にも危険がおよぶおそれがあります。たとえ使用方法を理解していたとしてもお子さまに操作をさせないでください。

取扱説明書は本製品と一緒に保管すること

第三者に本製品を使用させる場合にも、本書を必ず参照させて本製品を正しく使用できるようにしておいてください。本書は、必要な時にいつでも参照できるよう、所定の取扱説明書ホルダーまたは本製品のシートのカバーの内側に入れて保管してください。

短距離、短時間の移動でも本製品を使用すること

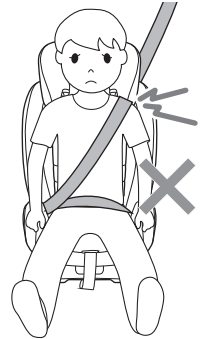
多くの事故は、短距離、短時間の移動の際に発生しています。たとえ短い距離の移動でも、お車を使用する場合は、お子さまの安全のため本製品を正しく使用してください。

⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

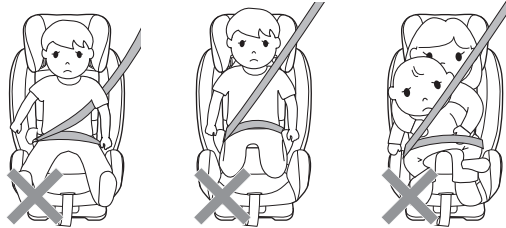
体型が合わない場合は使用しないこと

「使用できるお子さまの条件」に規定された範囲内でも、お子さまが成長してシートベルトの位置が正しく調節できないなど、正しくお子さまを乗せるとシートベルトやハーネスを正しく装着できなくなった場合には所定の安全性能を発揮できませんので、本製品の使用は中止してください。



お子さまを正しく座らせて使用すること

本取扱説明書の記載に従い、本製品を正しく調節して、正しくお子さまを座らせて使用してください。シートベルトやハーネスを間違えて使用したり、無理な姿勢で座らせたり、お子さまを立たせたり、正座、中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけません。



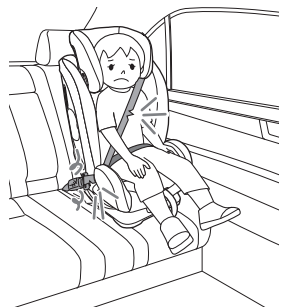
指定する方法以外で使用しないこと

本製品の固定やお子さまの固定のために、ひもや、帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなどを使用してはいけません。ハーネスまたはシートベルトを装着した上に、これらのもので補強してもいけません。ハーネス、シートベルトが正しく使用されていても、これらのものがお子さまの首や身体に引っかかったり、ハーネスやシートベルトに干渉するなどして重大な事故につながるおそれがあります。



シートベルト（シートバックル・シートタング）に損傷がある場合は使用しないこと

交通事故や急制動の際にシートベルトが切断したりシートバックルが外れたりして、重大な事故につながるおそれがあります。また、トドラーモードで使用の場合も同様に、本製品のハーネス/バックルに損傷がある場合には使用しないでください。

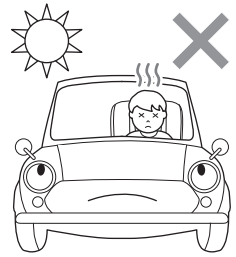


⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

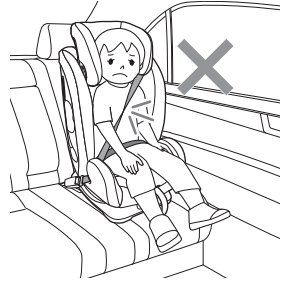
お子さまを自動車内に放置しないこと

本製品の使用の有無に関わらず、いかなる場合でも、どれだけ短い時間でも、お子さまを自動車の中に放置してはいけません。日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また、誤って自動車の操作をしたりハーネスやシートベルトに絡まるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



正しくハーネスやシートベルトを装着すること ハーネスやシートベルトをねじらないこと

お子さまが装着するハーネスやシートベルト、またトドラーモードの場合は、本製品を自動車の座席に固定するためのシートベルトにねじれがあると本製品が安全に機能しません。本製品を正しく調節して、ハーネスやシートベルトにねじれがないことを確認してしっかりと締め付け、いずれの場合もしっかりとバックルを留めて正しく使用してください。

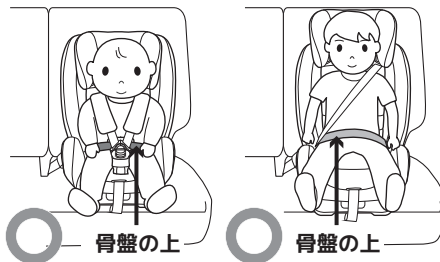


本製品の使用や取り付けに関わるベルト（ハーネス、シートベルト）類は、ゆるみのないようにすること

ハーネス、シートベルトにゆるみがないようにして本製品をご使用ください。

ハーネス、シートベルトの腰ベルトはお子さまの骨盤の上を通すこと

事故や衝撃を受けた際にお子さまにかかる衝撃を骨盤でしっかりと受け止めるため、ハーネス、シートベルトの腰ベルトはお子さまの骨盤の上を通して適切に締め付けるようにしてください。骨盤の上を通っていないと、内臓の損傷や骨折の危険性が高まります。



EPP / EPS フォーム（白い衝撃緩衝材）を取り外さないでください

本製品の内部に取付けられている EPP / EPS フォームは、本製品の安全性に関わる重要な部品です。絶対に取り外さないでください。

体重 15kg を超えるまではトドラーモードで使用してください

ブースターモードでの使用は、体重 15kg を超えてからです。それまではトドラーモードでご使用ください。またトドラーモードは体重 18kg まで使用可能です。

⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

前向き以外にして使用しないこと

本製品は自動車の進行方向に向かって前向きにして使用します。後ろ向きや横向きなど、前向き以外の状態では使用できません。



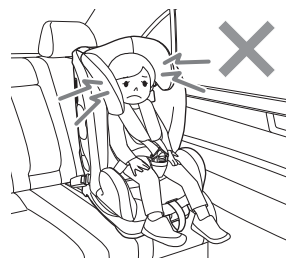
カバー類を取り外して使用しないこと

カバー類を取り外して使用すると、本製品が所定の安全性能を発揮できません。本取扱説明書で別段の指示がない限り、本製品の部品を取り外した状態で使用しないでください。カバー類、ウレタンも安全に関わる重要な部品です。決して取り外して使用しないでください。また同様に、本製品に縫い付け、または貼られているラベルやシールも本製品の適合する安全基準で規定されている重要な部品ですので、決してはがさないでください。

部品を取り外した状態で使用しないこと

本製品に破損や異常がある場合は使用しないこと

交通事故や急制動の際に本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあります。また本製品の破損部により思わぬ事故につながるおそれがあります。



本製品にお子さまを乗せた状態で持ち運ばないこと

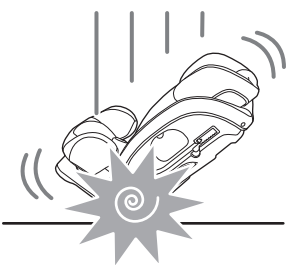
正しくハーネスを装着していたとしても、お子さまが落下したり窒息するおそれがあります。本製品を持ち上げる、持ち運ぶ、移動させる場合は、お子さまを本製品に乗せずに行ってください。

⚠警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

強い衝撃を受けた場合、損傷した場合、部品が欠落した場合は使用を中止すること

交通事故にあった、落下させた、車のドアで強くはさんだなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は絶対に使用しないでください。また、本製品の部品が欠落したり紛失した場合も使用してはいけません。目には見えない損傷や部品の欠落の影響によって本製品が安全に機能なくなっている可能性があります。このような場合は、保証の対象外となり、また安全性が担保できないため、修理もできませんので、新しい製品をご購入いただく必要があります。



⚠警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

走行前には本製品の状態を確認すること

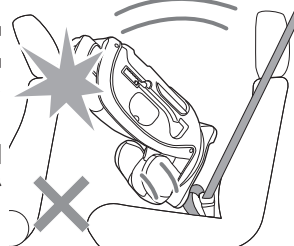
お子さまや他の乗員などが本製品に触れたり、座席を操作したりするなどして本製品の固定状態が変化しているおそれがあります。走行前には、必ず本製品が適切な状態にあるかどうかを確認してください。本製品を誤った状態で使用すると、お子さまばかりか、他の乗員の方にも危険がおよぶおそれがあります。



使用しない場合でも、車室内では本製品を必ず固定しておくこと

本製品にお子さまを乗せて使用しない場合、自動車の座席に本製品が固定されていないと、通常走行や交通事故や急制動の際に本製品が移動して運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

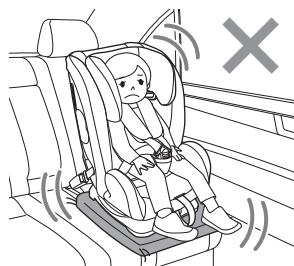
自動車に本製品を乗せる際には、シートベルトで自動車の座席に固定するか車外に出すなどして、自動車の運転中に本製品が車室内で移動しないようにしておいてください。



本製品の下にクッションや敷物などを敷かないこと

本製品と座席の間に、座布団やクッションなどの敷物を置かないでください。本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

本製品は、正しく使用することにより自動車の座席にくぼみや傷が生じ、取り付け痕が残る可能性があります。本製品を安全に機能させるために生じるものですので、あらかじめご了承ください。



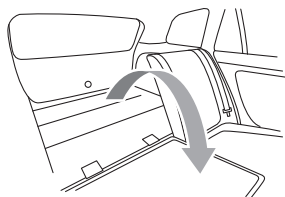
走行中は、本製品を操作しないこと

自動車の走行中は、本製品を操作してはいけません。お子さまの状態の確認でも、走行中には操作しないでください。走行中に異常を発見したり、お子さまの状態に不安が生じたりした際は、速やかに自動車を安全な場所に停めてから、確認、操作を行ってください。



可倒式座席の場合、確実に背もたれを固定すること

自動車の可倒式座席（トランクスペースを広く使えるよう、座席の背もたれを前に倒すことができる座席／トランクスルー）で本製品を使用する場合、背もたれを確実に立てて固定してください。背もたれが確実に固定されていないと、使用中に突然背もたれが倒れて思わぬ事故につながるおそれがあります。





警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

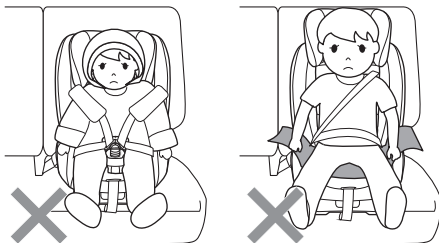
バックルが正しく留まっているか適宜確認すること

お子さまがバックルに触れると、バックルが解離してシートベルトが外れるおそれがあります。お子さまには、トドラーモードの場合は本製品のバックルに、またブースターモードの場合にはシートバックルに、それぞれ触れないように言い聞かせ、適宜バックルが正しく留まっていることを確認してください。



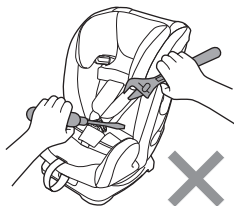
不適切な着衣で使用しないこと

お子さまを正しく固定できず、お子さまが落下したり、飛び出したりするおそれがあります。ケープや毛布など衣服ではないもの、また、おくるみなど、腕や足が出ない（ハーネスやシートベルトを正しく装着できない）構造の衣服、サイズの大きすぎる衣服などを着せて本製品を使用しないでください。また、ダウンジャケットなど、厚着をしている場合には、お子さまが確実にハーネスやシートベルトを装着できるよう、本製品を正しく調節してください。また、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが滑りやすくなりますので、毛布や座布団などの敷物をお子さまの下に敷かないでください。



本製品を分解したり改造したり、指定外の部品を取り付けて使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品の分解、改造をしてはいけません。また指定外の部品に交換したり、他社製の部品や製品を追加して取り付けて使用しないでください。型式承認機関の承認を得ずに、本製品を改造、改善、修繕を行うことはできません。



本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります

本書、本製品本体で指示されている荷重保持接点（シートベルトの通し位置や経路点など）以外を使用しないでください。

指定外のアクセサリを追加して使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。チャイルドシート用、ジュニアシート用とされていても、当社指定外の市販のマットやソフトクッション、パッドなどを本製品に追加して使用しないでください。

また、3点式シートベルトが安全に機能しなくなるおそれがありますので、シートベルトの長さを調節する器具や、肩ベルト、腰ベルト用のパッドなどの市販のアフターマーケット品をシートベルトに取り付けてはいけません。

⚠警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

過度の負担を掛けないこと

本製品が損傷し、所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本製品に重いものを載せたり、自動車のドアや自動車の座席のリクライニングで強く挟むなどしないでください。本製品に強い衝撃が加わったり損傷した場合は使用を中止してください。



中古品や劣化した本製品を使用しないこと

中古品は、過去の履歴や保管状況、使用状況が不明であり、目には見えないキズがあったり劣化が生じているしているおそれがあります。劣化した本製品は強度等が劣る可能性があり、本製品が安全に機能しないおそれがありますので使用しないでください。

安全のため、使用しなくなった本製品は、再利用されないよう配慮いただき、廃棄するようお願いいたします。



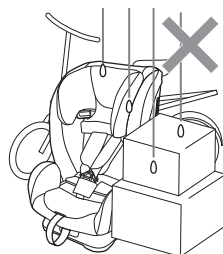
目的外で本製品を使用しないこと

本製品は、自動車内で使用するチャイルドシート、ブースターシートとしてのみ使用することができます。椅子やベッド、ベビーキャリーとして使用するなど、本来の目的以外で使用すると、お子さまが落下するなどして重大な事故につながるおそれがあります。



不適切な保管をしないこと

部品の劣化が早まったり、変質するなどして本製品が正常に機能しなくなるおそれがありますので、風雨にさらされる露天、直射日光のあたる場所、極端に暑くなる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などで保管しないでください。また、このような状態で長期間保管した本製品を使用してはいけません。



⚠注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

本製品のハーネスやバックルの挟み込みに注意すること

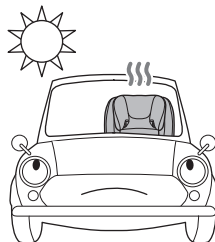
本製品のハーネスやバックルを車の座席やドアに挟み込んだり、引っ掛けたりしないように注意してください。

⚠注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

部品の過熱に注意すること

ヤケドを負うおそれがありますので、本製品の金属部品や樹脂部品が、日光により過度に加熱していないかを確認してから、お子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も、温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、日陰に駐車したり本製品に覆いをしたりするなどして加熱を防ぐようにしてください。



車室内にある動くものは固定しておくこと

急制動などの際に、本製品を使用しているお子さまのみならず、他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、車室内にある動く物品は適切に固定するようにしてください。



長時間連続して使用しないこと

お子さまを長時間にわたり同じ姿勢で固定すると、お子さまにストレスや疲労をあたえる可能性があります。より快適にご使用いただくため、適宜、お子さまを本製品から降ろして、お子さまが自由に動けるようにしてあげてください。

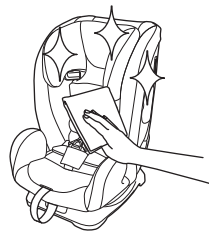
また、安全運転のためにもなりますので、最低でも1時間に1度は休憩をとるようにしてください。

長期間使用しない場合は、本製品を自動車から取り出すこと

自動車内の環境により、樹脂部品などの劣化が進むおそれがあります。

適切な方法でお手入れすること

チャイルドシートが安全に機能しなくなるおそれがありますので、お手入れやメンテナンスの際に潤滑油を使用してはいけません（特に稼働部、接合部）。本製品のお手入れは、本取扱説明書の指示に従っておこなうようにしてください。



疑問点がある場合は、販売店、チャイルドシートメーカーに問い合わせください

補修やお手入れ、メンテナンスについて疑問がある場合は、本製品をお買い求めになった販売店または巻末に記載のお客様サービスにお問い合わせください。

トランクでの保管に注意すること

本製品の破損につながるおそれがあります。本製品を自動車のトランクで保管する場合は、上に他の物を載せないようにしてください。

本書は本製品の所定の場所に収納して常時携帯すること

必要なときにいつでも参照できるように、本書は本製品のシート背面にある取扱説明書ホルダーに収納するか、シートのカバーの内側に入れるなどしてください。



基本的な使いかた

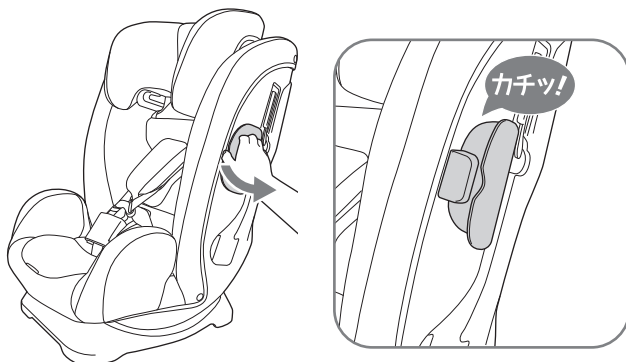
サイドインパクトシールドの使いかた

本製品には事故時などの側面からの衝撃を緩和する安全機構のサイドインパクトシールドが装備されています。本製品を取り付けた座席の自動車のドア側を開いて使用します。中央席側（他の乗員側）のサイドインパクトシールドは閉じておくと、より自動車の座席を広く使うことができます。

サイドインパクトシールドが自動車のドアに干渉する場合は閉じて使用してください。

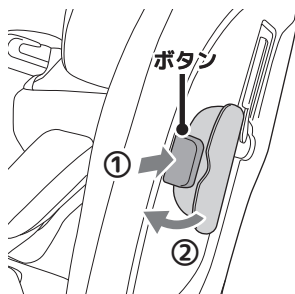
01

サイドインパクトシールドは本製品左右側面に装備されています。サイドインパクトシールドを外側に「カチッ」と音がするまで開いて使用します。本製品を取り付けた座席のドア側のサイドインパクトシールドを開いてください。



02

サイドインパクトシールドを閉じるには、サイドインパクトシールドの①ボタンを押し込んで、②閉じます。しっかりと閉じてください。

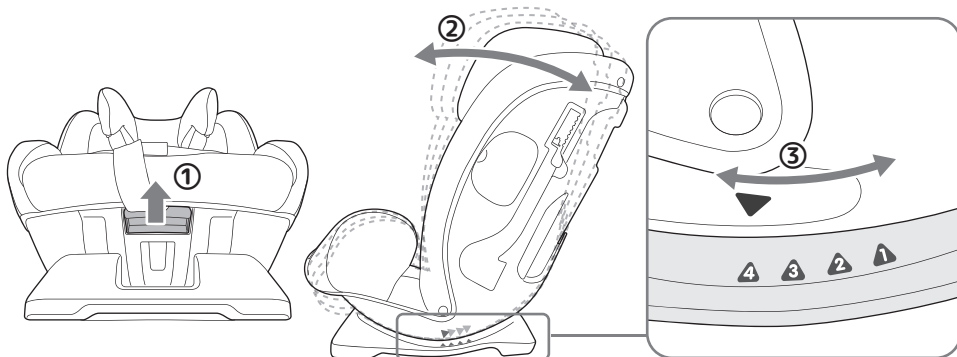


リクライニングの使いかた

4段階のリクライニングを切り替えることにより、シートの背もたれの角度を変更することができます。トドラーモード、ブースターモードとも4段階すべて使用することができます。

01

本製品前端部の①リクライニングレバーを引き上げて、②シートの背もたれ角度を調節してください。目的の角度でリクライニングレバーから手を放すとシートの背もたれが固定されます。リクライニングの角度は③本製品側面の▼のマークで確認することができます。



バックルの使いかた

トドラモードでは、お子さまは本製品のバックル／ハーネスを装着します。

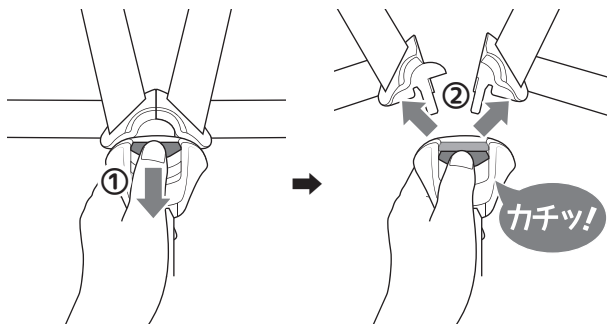
👉ポイント!

ブースターモードでは、本製品のハーネス／バックルを本体内に格納して、お子さまは自動車のシートベルトを装着します。

バックルの外しかた

01

バックルを外すには、バックルを握って①バックルボタンを押し下げます。②「カチッ」と音がして、差込タングが外れます。



⚠️注意

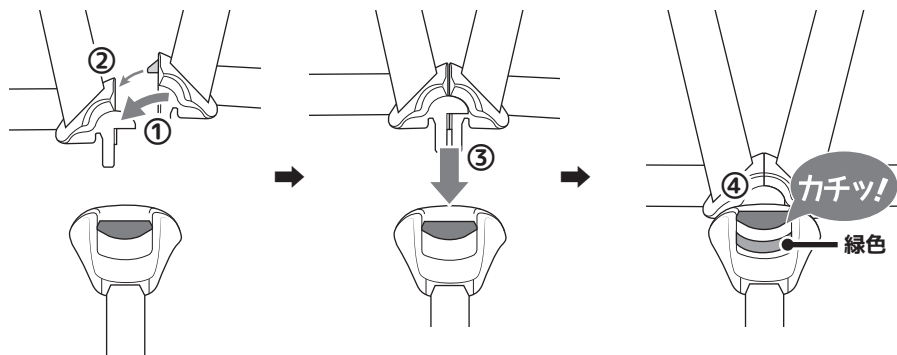
バックルは握って操作してください

直接にバックルボタンを押下すると、お子さまの腹部を圧迫するおそれがあります。お子さまに負担のないようにバックルを握って操作してください。あらかじめハーネスをゆるめて操作すると、よりお子さまへの負担を減らすことができます。

バックルの留めかた

01

バックルを留めるには、①向かって右側の差込タングを、左側の差込タングに乗せるようにして、②右側の差込タングの先端部の突起を左側の差込タングに差し入れて重ねます。③そのまま受けバックルに差し込んで、④「カチッ」と音がするようにしてバックルを留めます。バックルが正しく留まると、バックルボタンの下に緑色のインジケーターが現れます。



肩ベルト（ハーネス）の長さ調節

トドラーモードで使用する場合は、お子さまの体格や月齢、着衣の状態に応じて肩ベルト（ハーネス）の長さを調節します。

⚠危険

肩ベルト（ハーネス）の長さは適切に調節すること

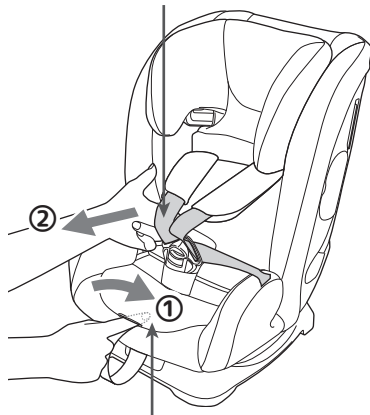
肩ベルト（ハーネス）は必ず適切な長さに調節してください。肩ベルトが締められすぎていたり、ゆるんでいたりとすると、事故や衝撃の際に、お子さまが本製品から飛び出したり肩ベルトが首に絡まるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

01

肩ベルトをゆるめるには、①シートの前端のベルトアジャスター（穴の中にありますので外側からは目視できません）を押し込みながら、②肩ベルトを持って、ゆっくりと手前に引き出します。肩ベルトパッドを持つと、肩ベルトの引き出しができませんのでご注意ください。



肩ベルトを持って引き出します。肩ベルトパッドを持つと、肩ベルトの引き出しができません。



ベルトアジャスターは穴（切れ込み）の中にあります。外側からは見えません。

02

アジャストベルトを手前に引くと、肩ベルトが締まります。

⚠注意

アジャストベルトはゆっくりと引いてください。

勢いよく強くアジャストベルトを引くと、お子さまに過剰な負担がかかるおそれがあります。ハーネスが締めすぎると、お子さまに負担が掛かります。肩ベルトは、お子さまとの間に大人の方の手のひらを差し込める程度に締め付けてください。



ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節

ヘッドレストと肩ベルトの高さ調節は連動しています。

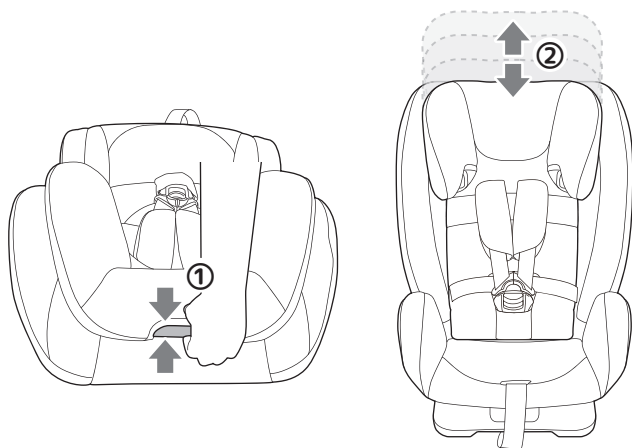
ヘッドレストの高さを調節すると、自動的に肩ベルトの高さも調節されます。

本製品のハーネス（トドラーモード）を使用する場合はハーネスの肩ベルトの高さを調節します。ブースターモードで使用する場合は自動車のシートベルトの肩ベルトを通す肩ベルトガイドの高さを調節しますが、いずれの高さの調節も操作方法は同様です。

お子さまの成長に合わせて、ヘッドレストと肩ベルトの高さを適切に調節してください。

01

ヘッドレストは9段階で高さの調節ができます。①ヘッドレストアジャストレバーを握り、②ヘッドレストを上下に動かしてヘッドレストの高さを調節します。目的の高さでヘッドレストアジャストレバーから手を離すとその高さでヘッドレストが固定されます。



02

ヘッドレストを軽く動かして、しっかりと固定されていることを確認してください。

ポイント!

ハーネスが最も短い状態に調節されていると、ヘッドレストが上方向に動かしにくくなります。この場合はハーネスをゆるめてください。

参照 P24 ▶ 肩ベルト（ハーネス）の長さ調節

トドラーモードの使いかた



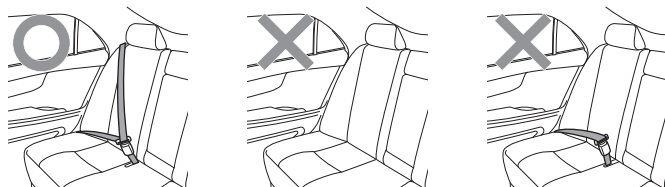
使用する向き	自動車の進行方向に対して前向き
座席への 取り付け方法	3点式シートベルト
お子さまの 固定方法	本製品のハーネス
使用可能な リクライニング	1～4

使用可能なお子さまの条件

体重 : 9kg-18kgまで
目安年齢 : 1歳頃から4歳頃まで使用可能※
※年齢は目安となります。使用の可否は体重で定められています。

取り付けかた

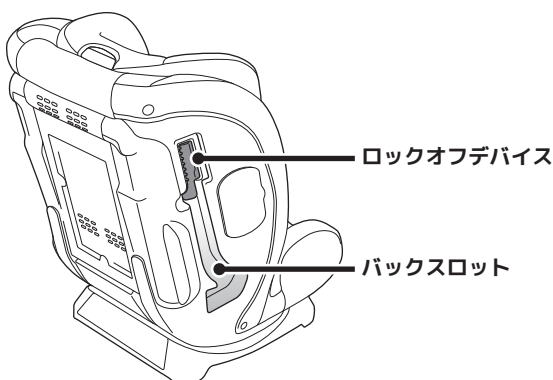
本製品は、3点式シートベルトで自動車の座席に固定します。2点式など、その他のシートベルトでは取り付け、使用することはできません。



本製品は、ブースターモードでも3点式シートベルトを使用します。
 トドラーモードとブースターモードではシートベルトを通す位置が異なります。自動車の座席に固定する前に、シートベルトを通す位置をあらかじめ確認しておいてください。

ポイント!

トドラーモードでは、シートベルト（腰ベルト・肩ベルト）を本製品のバックスロットを通し、シートベルトの取り出し口側の肩ベルトをロックオフデバイスで固定します。



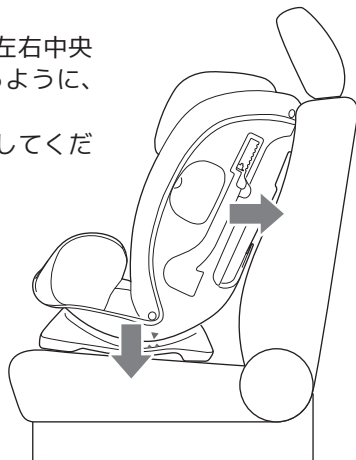
01

本製品を自動車の座席の上に置きます。本製品を座席の左右中央にして、本製品が座席の背もたれと座席の座面に接するように、置いてください。

シートベルトやその他のもののの上に置かないように注意してください。

ポイント!

以下は、自動車を正面から見て右側の座席で本製品を使用する場合を説明しています（お子さまの右側に自動車のドアがある状態）。左側の座席で使用する場合は、左右が逆になりますのでご注意ください。

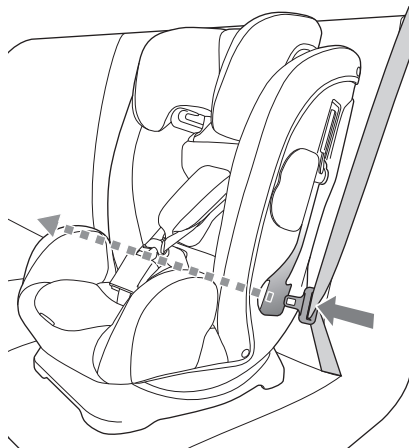


02

シートベルトをゆるめて、シートタングをバックスロットに差し入れ、反対側のバックスロットから抜き出します。シートベルトをねじらないように注意してください。

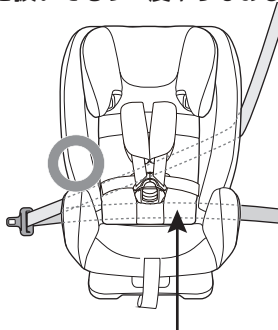
危険

シートベルトをねじらないようにしてください
シートベルトにねじれがあると、本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあります。

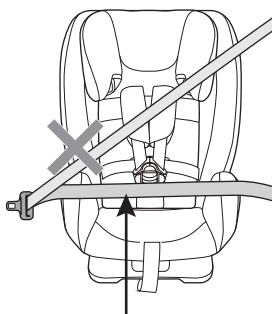


ポイント!

シートタング、シートベルトが中を通っていることを確認してください。外側に出ている場合は、シートタングを抜いてもう一度やりなおしてください。



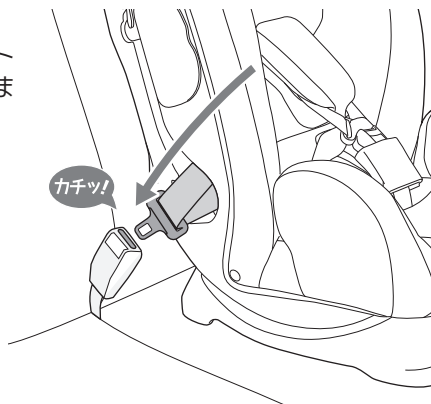
シートベルトが中を通っている



シートベルトが背もたれの
外側に出ている

03

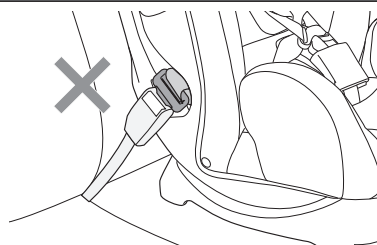
シートベルトにねじれがない事を確認して、シートタングをシートバックルに「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んで、留めます。



⚠危険

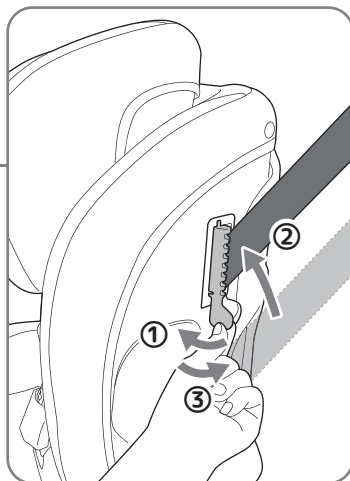
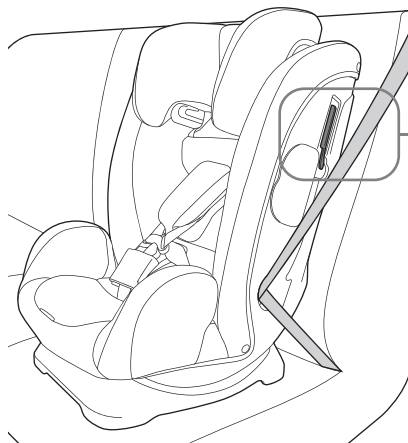
シートバックルが干渉する座席では使用しないこと

シートバックルのベルトが長すぎる、シートバックルの位置が前方すぎるなどして、バックスロットにシートバックルが干渉する場合、安定して本製品を固定することができませんので、その座席では使用しないでください。



04

シートベルトの取り出し口側（シートバックルの反対側）の①ロックオフデバイスを開いて、②肩ベルトをしっかりと奥まで通し、③ロックオフデバイスを閉じます。ロックオフデバイスはバネで開閉しますので、ロックオフデバイスから手を離すと自動的に肩ベルトを挟んだ状態で閉じます。

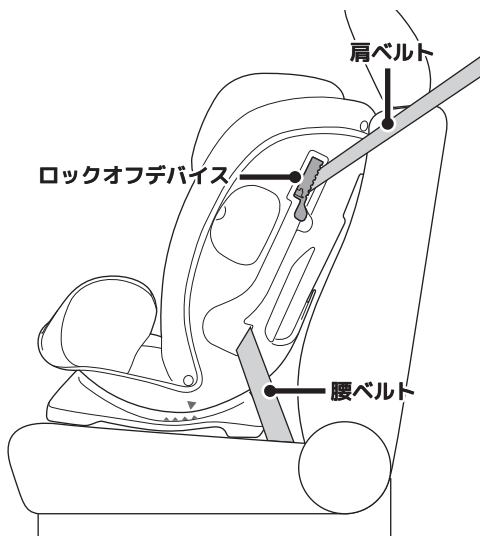


👉ポイント!

ロックオフデバイスには肩ベルトのみを通します。腰ベルトは通さないでください。

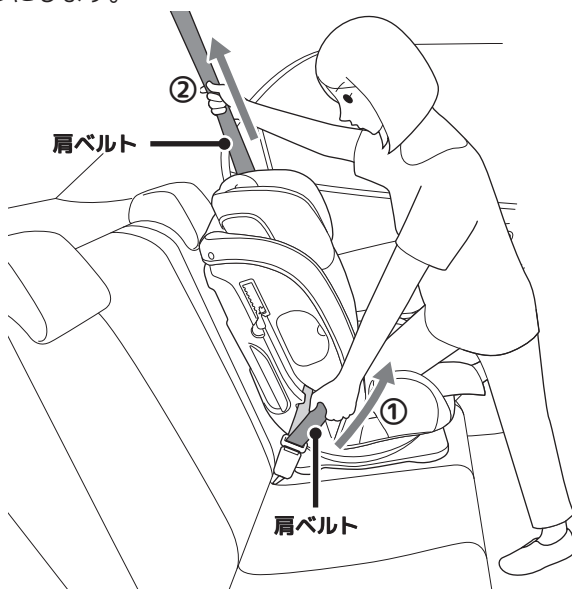
05

右図のような状態になっていることを確認してください。



06

下図のように、片膝を本製品の座面部に乗せるなどして、本製品を強く座席の座面に押しつけながら、肩ベルトを引いて締めてください。肩ベルトは①、②の順で締めます。①のみを締めても本製品を強く固定できません。①を締めたら、続けて②を締めてください。できる限り強く締めるようにします。



👉 ポイント!

腰ベルトを引いたり、肩ベルトと腰ベルトを両方つかまないように注意してください。肩ベルトのみを引き締めます。

👉ポイント!

自動車の座席が前後に動かせる場合、座席の構造によっては、本製品を取り付けた後で座席を前方に動かすと本製品の締め付けがより強くできる場合があります。

逆に、後方に動かすと、本製品の取り付けがゆるみますので、絶対に後方には動かさないでください。前後に関わらず座席を動かした場合は必ず本製品の取り付け状態を確認してください。

07

本製品がグラグラせず、しっかりと固定されていることを確認してください。グラグラする場合は、もう一度取り付けなおしてください。

⚠危険

しっかりと固定すること

本製品の取り付けがゆるいと、事故や衝撃を受けた際に本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあります。

⚠警告

リクライニング操作、座席の移動操作に注意すること
取り付けがゆるむおそれがあります。本製品を取り付けた後で、自動車の座席のリクライニング操作をしたり、座席を移動させた場合は必ず本製品の取り付け状態を確認してください。



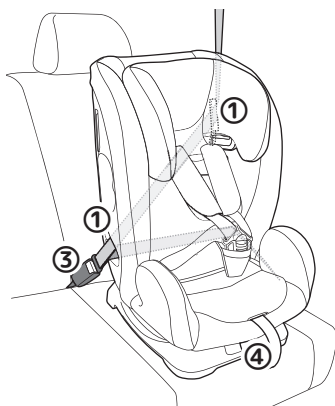
08

最後に、次のチェックリストを確認してください。

適切でない部分があれば、本書の指示に従い適切な状態に修正してから使用してください。

👉Check!

- ① シートベルトがバックスロットを通っていること。
- ② 肩ベルト（シートベルト）がロックオフデバイスを通り、ロックオフデバイスが閉じられていること。
- ③ シートベルトのバックルがしっかりと固定されていること。
肩ベルト、腰ベルトにねじれ、ゆるみがないこと。
- ④ 本製品がグラグラせず、しっかりと座席に固定されていること。



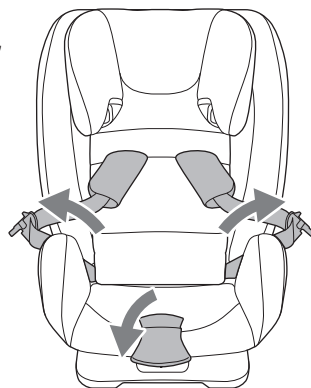
09

取り外しは逆の手順で行います。取り外した本製品はそのまま車室内に置かず、車外に出して保管してください。

お子さまの乗せかた

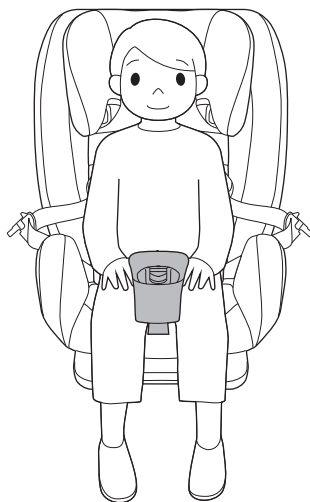
01

バックルを外して、ハーネスの肩ベルトを外に出し、股ベルトを前方に倒しておきます。



02

お子さまを楽な姿勢にして本製品に座させます。背筋を伸ばして、股ベルト（受けバックル）を両足の間に入れます。



 ポイント!

お子さまは楽な姿勢で座らせてください。座りかたが、浅すぎたり、深すぎたりしないようにご注意ください。



楽な姿勢



浅すぎる

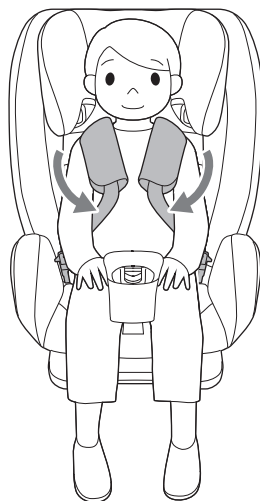


深すぎる

03

ハーネスをゆるめて、肩ベルトをお子さまの腕に通します。

参照 P24 ▶肩ベルト（ハーネス）の長さ調節



04

ヘッドレストを操作して肩ベルトを適切な高さに調節します。

肩ベルトはお子さまの肩の位置と水平か、または肩の高さよりも高くかつ最もお子さまの肩の位置に近い高さに調節します。お子さまの肩の高さよりも低い位置や高すぎる位置の場合、お子さまがハーネスから抜けるおそれがあります。

参照 P25 ▶ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節



注意

やさしく、ゆっくりと操作すること

肩ベルトの高さ調節はお子さまの負担にならないように、やさしくゆっくりと操作してください。

 ポイント!

肩ベルトの高さは毎回調節する必要はありませんが、適切な高さになっているかを使用毎に確認するようにしてください。肩ベルトの高さは、お子さまの成長に合わせて適宜適切に調節してください。

05

ハーネス（肩ベルト、腰ベルト、股ベルト）にねじれがないことを確認してください。腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通るように調節して「カチッ」と音がするようにしっかりとバックルを留めます。

ポイント!

ハーネスがきつい場合は無理にバックルを留めず、ハーネスをゆるめてからバックルを留めます。

⚠危険

腰ベルトはお子さまの骨盤の上を通すこと

腰ベルトが骨盤の上を通っていないと、事故や衝撃を受けた際に腹部や腿に過剰に負担が掛かり重大な事故につながるおそれがあります。

ハーネス、股ベルトをねじらないようにすること

ハーネス、股ベルトにねじれがあると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。バックルを留める際には、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないことを確認してください。



腰ベルトを骨盤の上に通す

06

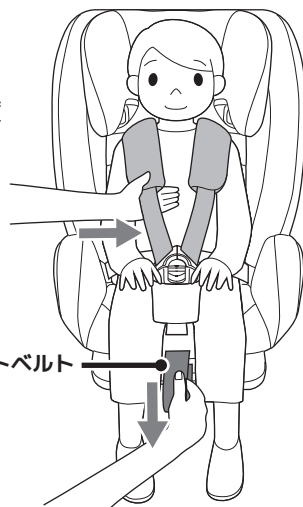
肩ベルトとお子さまの間に、掌を差し込んでアジャストベルトをゆっくりと引いて締めつけます。

差し込んだ掌が肩ベルトとお子さまの身体の間に挟まれる程度まで締め付けるようにします。

ポイント!

締め付けすぎた場合は、ベルトアジャスターを使って、ハーネスをゆるめてから締めなおしてください。

参照 P24 ▶肩ベルト（ハーネス）の長さ調節

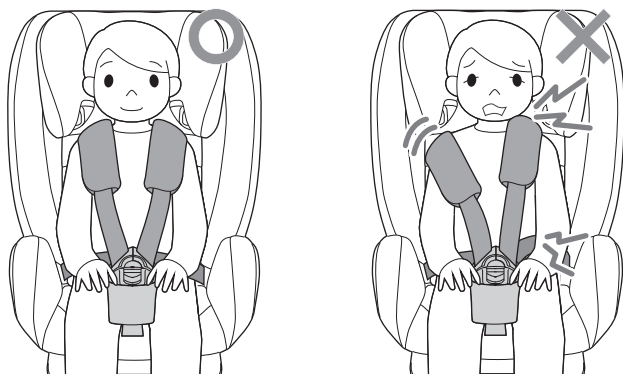


アジャストベルト

07

ハーネスが正しい状態になっていることを確認してください。

正しい状態になっていない場合は、肩ベルトの高さと、肩ベルトと腰ベルトの位置を調節して、肩ベルト（肩ベルトパッド）がお子さまの肩を通り、腰ベルトがお子さまの骨盤の位置を通るようにしてください。



⚠危険

ハーネスは適切に調節すること

肩ベルトが強く締めすぎるとおそれがありますので、アジャスターベルトを勢いよく引っ張らないでください。

ハーネスは強く締まるほど、お子さまの保護も強くなりますが、強く締めすぎるとお子さまが苦しくなってしまいます。逆に、締めつけがゆるすぎると、使用中にお子さまが本製品から落下したり、衝撃を受けた際にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。必ず、適切な強さで締め付けるようにしてください。

ハーネスは正しい状態で使用すること

ハーネスは必ず正しい状態で装着してください。ハーネスがゆるんでいたり、肩ベルトが腕の位置や脇の下、頸部を圧迫する位置を通っていたり、腰ベルトがお子さまの腹部や大腿部の位置を通っていたりすると、事故や衝撃を受けた際に思わぬ事故につながるおそれがあるばかりか、通常の使用時においてもお子さまに危険がおよぶおそれがあります。ハーネスは必ず正しい状態にして、使用中もハーネスがずれたり、ゆるんだりしていないか適宜確認するようにしてください。

08

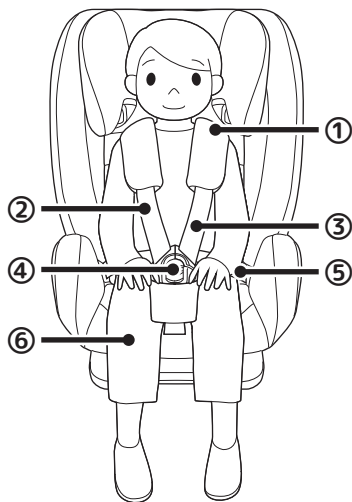
以下のチェックリストを確認して、正しい状態になっているか確認してください。正しい状態になっていない部分がある場合は、正しい状態にしてから本製品を使用してください。

Check!

- ① 肩ベルトの高さが適切に調節されていること。
- ② ハーネスが適切に締め付けられていること。
- ③ 肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれないこと。
- ④ バックルがしっかりと留まっていること。
- ⑤ 腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通っていること。
- ⑥ お子さまが正しい姿勢で座っていること。

ポイント!

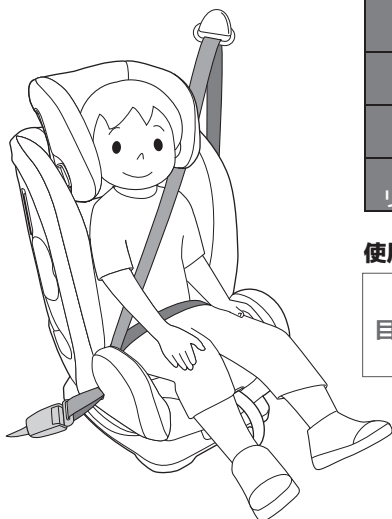
本製品のバックルは、お子さまには外しにくいように設計されていますが、安全のためお子さまにはバックルに触れないように言い聞かせるようにしてください。



09

お子さまを降ろす場合は、バックル（ハーネス）を外してお子さまの腕を抜き、ハーネスに引っ掛かったりしないよう注意して、ゆっくりとお子さまを降ろしてください。

ブースターモードの使いかた



使用する向き	自動車の進行方向に対して前向き
座席への取り付け方法	3点式シートベルト
お子さまの固定方法	3点式シートベルト
使用可能なリクライニング	1~4

使用可能なお子さまの条件

体重 : 15kg-36kgまで
目安年齢 : およそ3歳から12歳頃まで使用可能※
※年齢は目安となります。使用の可否は体重で定められています。

ブースターモードでは、本製品のハーネス、バックル、股ベルトを本体内に格納して使用します。本製品を自動車の座席に置き、お子さまを乗せて自動車の3点式シートベルトを装着します。

ポイント!

トドラモードとは異なり、本製品単体では自動車の座席に固定されません。このため、お子さまが使用しない場合は、本製品は車室内に置かず、車外に出して保管するか、または本製品が自動車の使用中に移動しないように適切な方法で固定しておいてください。

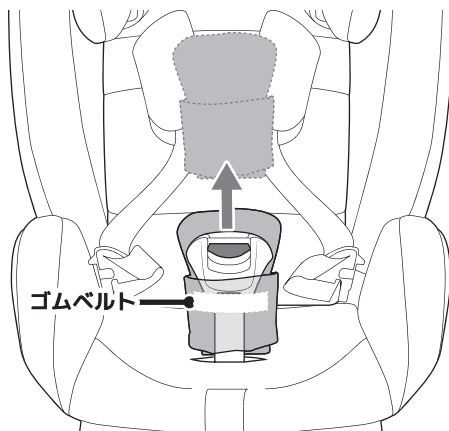
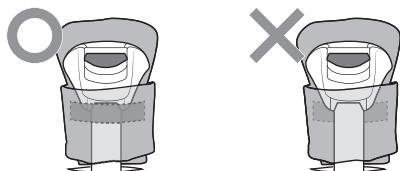
ブースターモードへの切り替えかた

01

バックルを外して、股ベルトパッドを抜き取ります。股ベルト（受けバックル）は、股ベルトパッドの内側のゴムベルトを通して固定されています。ゴムベルトから股ベルトを抜くようにして股ベルトパッドを取り外してください。

ポイント!

股ベルトパッドを取り付けなおす際には、股ベルト（受けバックル）を股ベルトパッドの内側のゴムベルトを通してしてください。ゴムベルトに通っていないと使用中に股ベルトパッドが抜け落ちるおそれがあります。



⚠注意

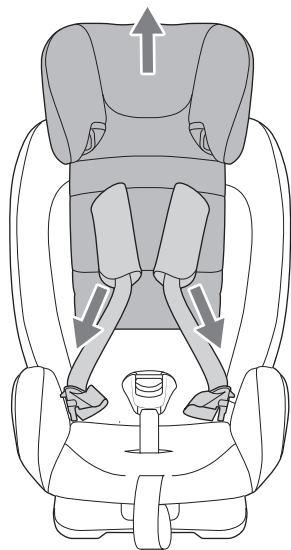
股ベルトパッドを大切に保管してください
 ブースターモードでは股ベルトパッドは使用しません。取り外した股ベルトパッドはお子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。

02

ハーネスをゆるめて、ヘッドレストを最も高い位置に調節しておきます。

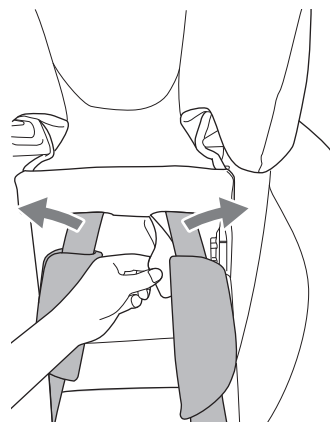
参照 P24 ▶肩ベルト（ハーネス）の長さ調節

参照 P25 ▶ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節



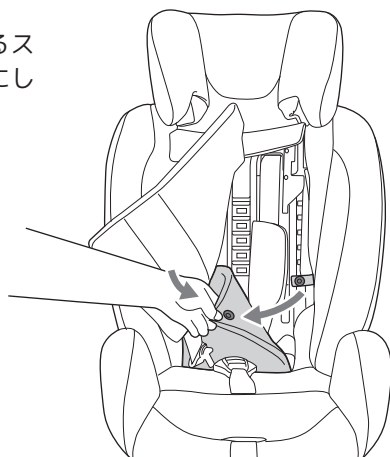
03

肩ベルト（ハーネス）をヘッドレスト下部の隙間（肩ベルトが通されている部分）から外側に抜いて外します。左右とも同じようにしてください。



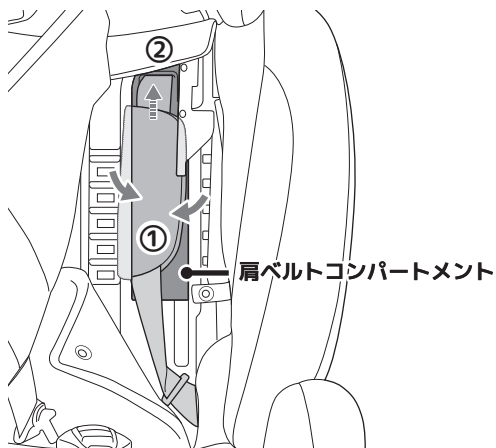
04

本製品の背もたれの上中央あたりに留められているスナップボタン（左右）を外します。左右とも同じようにしてください。



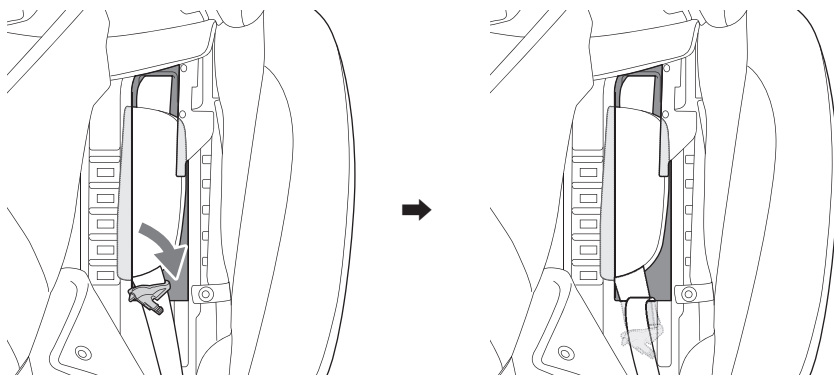
05

左右の肩ベルトパッド（肩ベルト）を、①肩ベルトコンパートメントに押し込み、②肩ベルトパッドを上の方にずらしておきます。左右とも同じようにしてください。



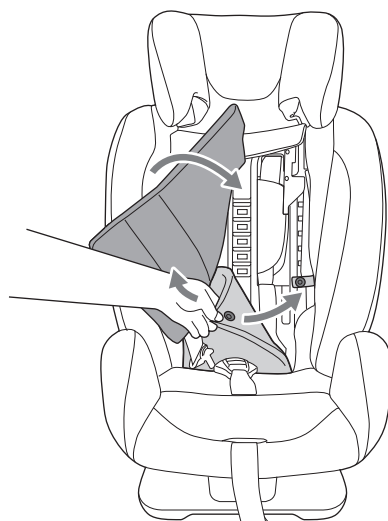
06

差込タングを肩ベルトコンパートメント内に押し込みます。左右とも同じようにしてください。



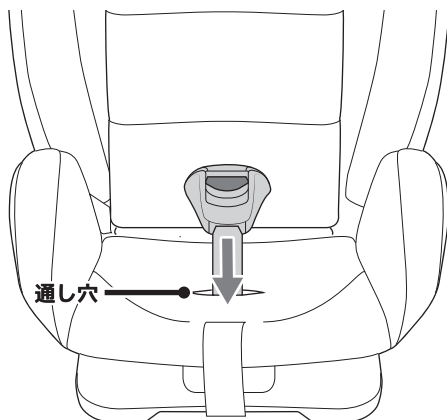
07

04 で外した左右のスナップボタンを留めます。



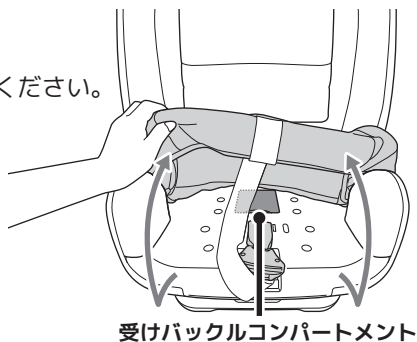
08

シートのカバーの座面部分の通し穴から受けバックルを抜きます。



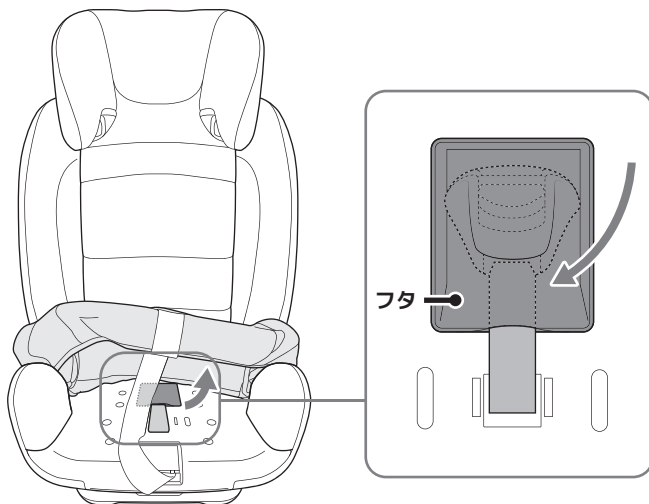
09

シートのカバーの座面先端部分をめくり上げます。
奥にある受けバックルコンパートメントを確認してください。



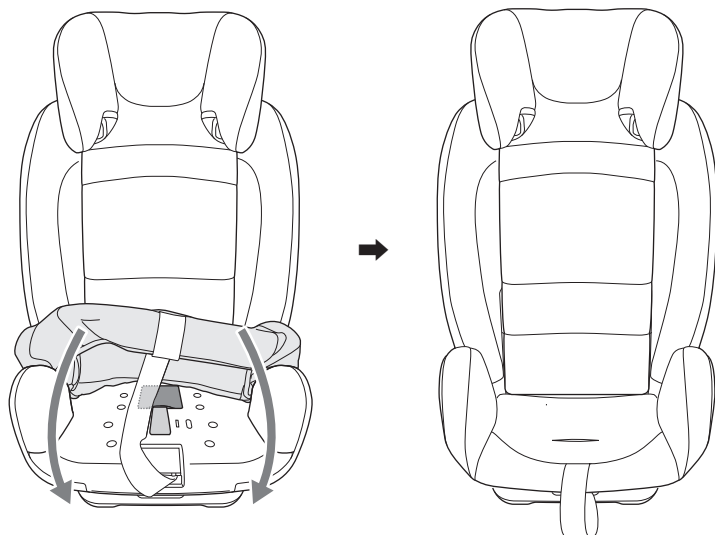
10

受けバックルコンパートメントのフタを開け、受けバックルを収納して、フタを閉じて（被せて）おきます。フタは完全には閉まりません。



11

シートのカバーを、元通りに被せます。これでブースターモードに切り替えられました。



12

ブースターモードからトドラーモードへの切り替えは、逆の手順で行ってください。

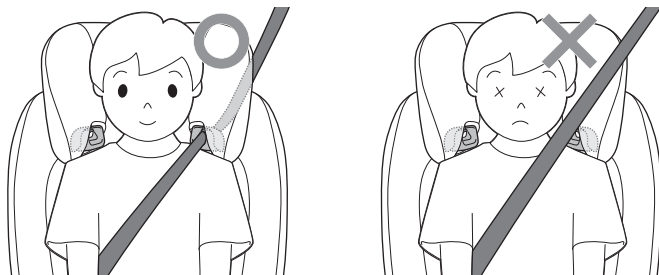
肩ベルトの高さ調節

ブースターモードでは、お子さまは自動車の3点式シートベルトを装着します。シートベルトの肩ベルトをヘッドレストの肩ベルトガイドに通すことにより肩ベルトの高さを適切に調節して使用します。

⚠ 危険

肩ベルトガイドを適切に使用すること

ブースターモードで使用する際には、必ず肩ベルトガイドに肩ベルトを通して、高さを適切に調節して使用してください。肩ベルトガイドを使用しないと事故や衝撃を受けた際にお子さまに過剰な負担がかかったり、本製品からお子さまが飛び出すおそれがあります。



01

お子さまを正しい姿勢で本製品に乗せてください。

参照 P32 ▶お子さまの乗せかた▶ 02 ▶ポイント

02

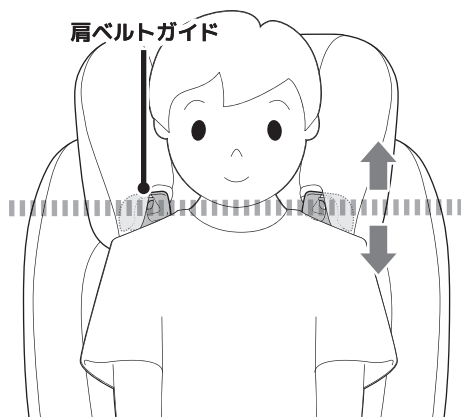
ヘッドレストの高さを調節して、肩ベルトガイドの高さを調節します。

参照 P25 ▶ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節

ヘッドレストは9段階で高さを調節することができます。ヘッドレスト左右の赤色の肩ベルトガイドがお子さまの肩の高さと同じかまたは少し上の高さになるようにします。

👉ポイント!

シートベルトを装着してから、もう一度肩ベルトガイドの高さを確認します。



サイドウイング機能

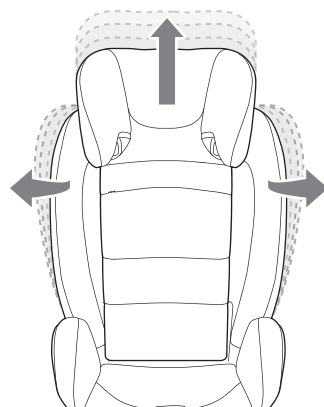
01

本製品には、よりお子さまに安全で快適にご使用いただくためのサイドウイング機能が搭載されています。お子さまの成長に従いヘッドレストを高い位置に調節すると、自動的にお子さまの肩の部分にあたる側壁が外側に開くようになっていきます。

ヘッドレストを5段階以上の高さに調節すると、段階的に広がるようになっていきます。

👉ポイント!

トドラーモードの状態でも、ヘッドレストが5段階以上に調節すればサイドウイングは機能しますが、安全のためヘッドレストの高さが4段階以下の場合は側壁が広がらない構造になっています。



お子さまの乗せかた

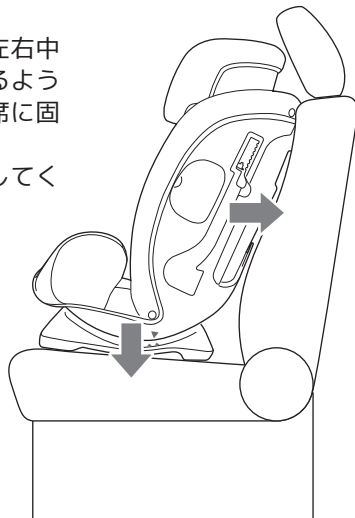
01

本製品を自動車の座席の上に置きます。本製品を座席の左右中央にして、本製品が座席の背もたれと座席の座面に接するように、置いてください。ブースターモードでは本製品を座席に固定する操作はありません。

シートベルトやその他のものの上に置かないように注意してください。

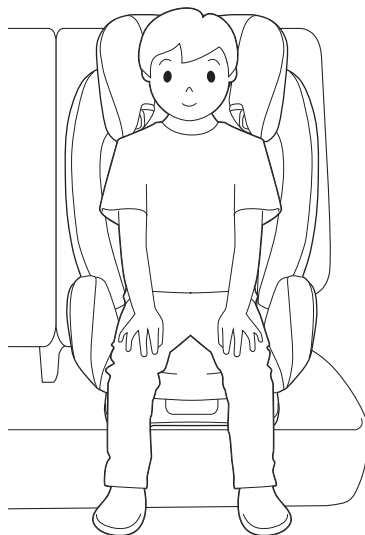
ポイント!

本製品のヘッドレストが、自動車の座席のヘッドレストに干渉する場合、自動車のヘッドレストを取り外すかまたは高さ、角度を調節して、本製品のヘッドレストが干渉しないようにしてください。



02

お子さまの背筋を伸ばし、楽な姿勢にしてシートに座らせます。腰を深くして、本製品の座面中央に座らせてください。

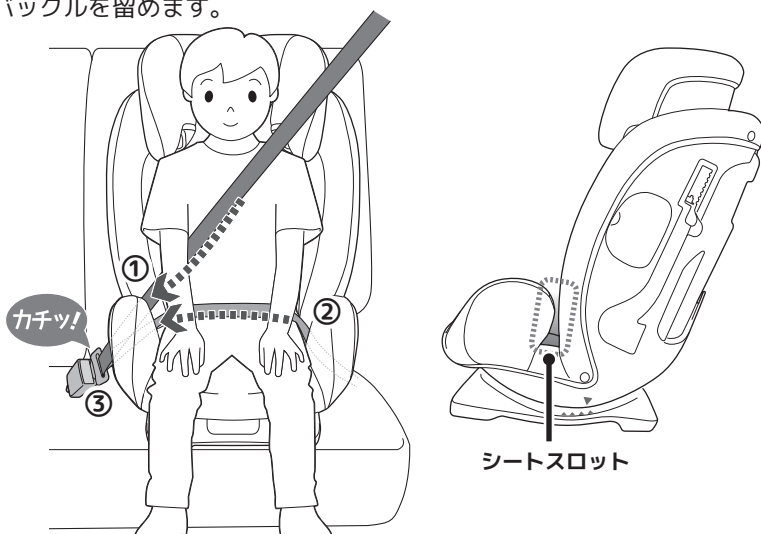


ポイント!

以下は、自動車を正面から見て右側の座席で本製品を使用する場合を説明しています（お子さまの右側に自動車のドアがある状態）。左側の座席で使用する場合は、左右が逆になりますのでご注意ください。

03

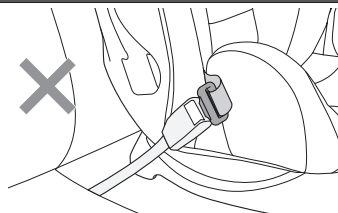
シートベルトをねじらないように注意して引き出して、①シートバックル側のシートスロットに肩ベルトと腰ベルトを通し、②自動車のドア側のシートスロットに腰ベルトを通して、③自動車バックルを留めます。



⚠危険

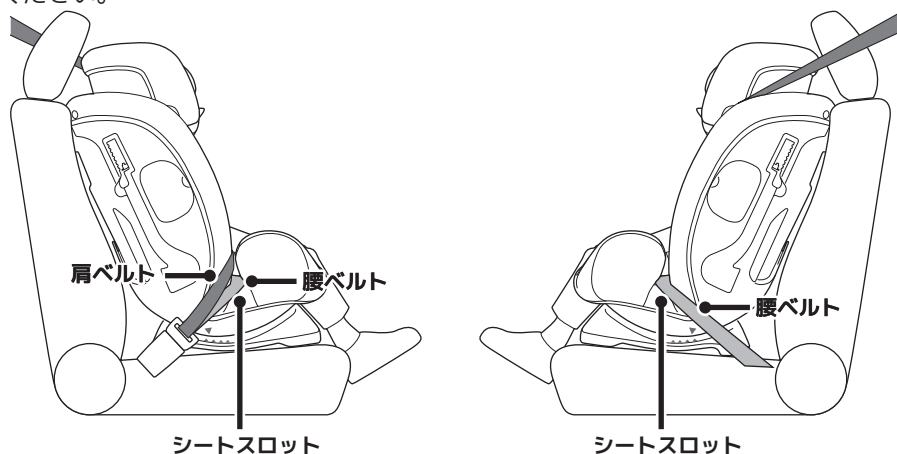
シートバックルが干渉する座席では使用しないこと

シートバックルのベルトが長すぎる、シートバックルの位置が前方すぎるなどして、シートスロットにシートバックルが干渉する場合、安定して本製品やお子さまを固定することができませんので、その座席では使用しないでください。



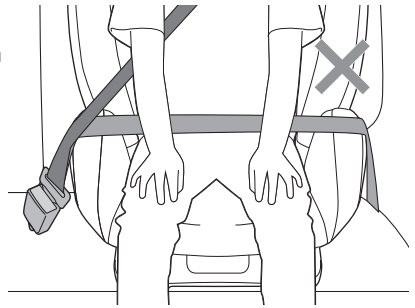
04

下図のように、シートベルトが正しい状態で左右のシートスロットを通っていることを確認してください。



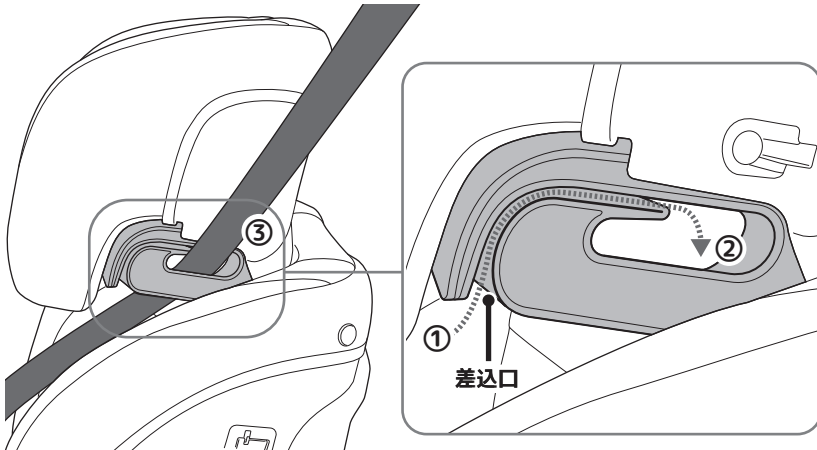
⚠危険

シートベルトはシートスロットを通すこと
シートベルトがシートスロットを通っていないと、本製品
が所定の安全性能を発揮できず大変危険です。



05

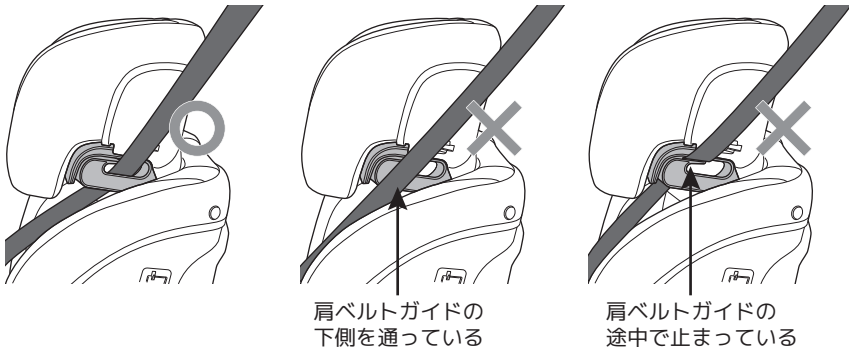
肩ベルトガイドに、肩ベルトを通します。肩ベルトガイドの下側の差込口から①肩ベルトを差し込み、②奥まで通して、③下図のような状態にします。



⚠危険

肩ベルトを正しく肩ベルトガイドに通すこと

事故や衝撃を受けた際に、本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあります。肩ベルトを肩ベルトガイドの下側を通したり、奥まで通さずに使用しないでください。肩ベルトは、肩ベルトガイド以外の場所を通さないでください。



肩ベルトガイドの
下側を通っている

肩ベルトガイドの
途中で止まっている

06

肩ベルトの高さが適切になっているか確認します。肩ベルトガイドがお子さまの肩と水平、または少し上になる位置に調節してください。高すぎたり、低すぎたりする場合は、ヘッドレストの高さを調節して適切な高さに調節します。

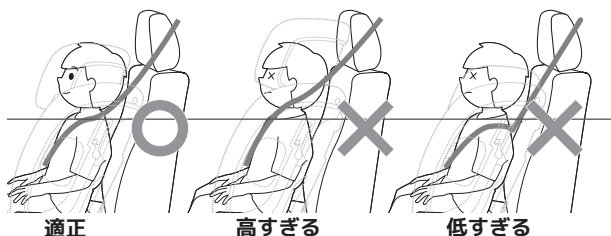
参照 P25 ▶ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節



⚠危険

肩ベルトガイドの高さを適切に調節すること

肩ベルトガイドは、お子さまの肩と同じ適切な高さに調節します。肩ベルトガイドが高すぎたり、低すぎたりすると、お子さまが本製品から飛び出したりするなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。



07

肩ベルトが、左右で正しい位置を通るようにしてください。正しい位置より外側、内側を通っている場合は、本製品の左右の位置やお子さまの座る位置を確認して正しい位置にします。肩ベルトは、正しい高さで、正しい位置を通るようにしてください。



⚠危険

肩ベルトは、必ず正しい位置を通すこと

肩ベルトが、正しい位置よりもお子さまの首側（内側）にあると事故や衝撃を受けた際に肩ベルトがお子さまの首を圧迫し大変危険です。正しい位置よりも外側の場合、事故や衝撃を受けた際にお子さまが肩ベルトからすり抜けて飛び出るおそれがあります。

肩ベルトがお子さまの顔、頭部、首に掛かっている場合はそのまま使用せず、ヘッドレストの高さの調節や、お子さまの着座位置や本製品の位置を左右に微調整するなどして肩ベルトが正常な高さ、位置になるようにして使用してください。

腰ベルトだけで使用しないこと

肩ベルト、腰ベルトの両方を使用してください。肩ベルトをシートの裏側に回したり、左右両方のシートスロットに肩ベルトを通すなどして、腰ベルトだけの状態にして使用してはいけません。

肩ベルトを正しく使用すること

肩ベルトをゆるめたり、脇の下を通したりしないこと。

肩ベルトをお子さまの背中側にして使用しないこと。

お子さまを正しく座らせること

お子さまが本製品のシート内で前方にずれる（お尻を前にずらす）と、肩ベルトがお子さまの首にかかり、お子さまの首が締められるおそれがあります。

本製品使用中は、お子さまが正しい状態で座っているように注意して適宜状態を確認してください。

⚠警告

シートベルト用の市販のアクセサリ類を取り付けないこと

本製品に干渉し、安全に機能しなくなるおそれがありますので、シートベルトの長さを調節する器具やシートベルト用のパッド類などの、市販のアクセサリ類を取り付けて使用しないでください。

08

①腰ベルトの位置を調節して、お子さまの骨盤の上に腰ベルトが通るようにします。②肩ベルトを引いてシートベルトにたるみがないようにします。

⚠警告

腰ベルトは骨盤の上を通すこと

事故や急制動などの際に衝撃を骨盤で受けられるよう、腰ベルトをお子さまの骨盤の上を通すようにしてください。骨盤の上を通っていないと、内臓の損傷や骨折にいたる危険性が高まります。

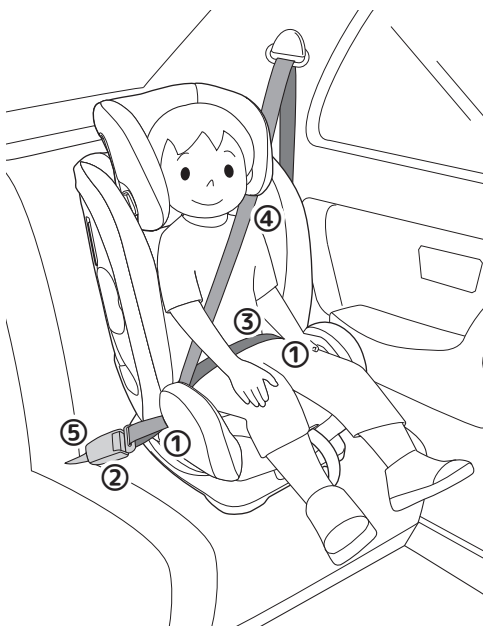


09

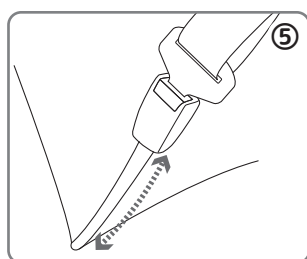
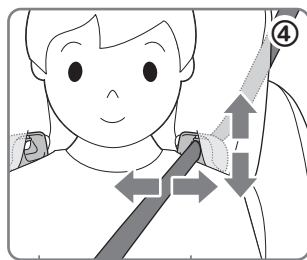
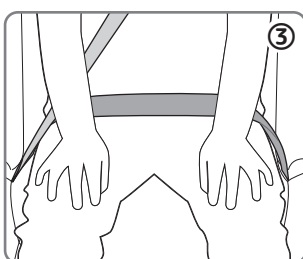
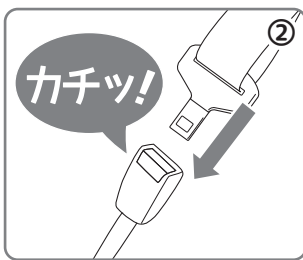
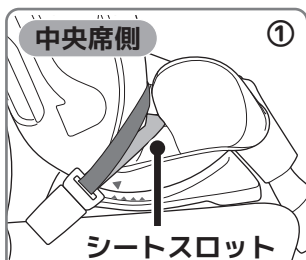
最後に、次のチェックリストを確認してください。

適切でない部分があれば、本書の指示に従い適切な状態に修正してから使用してください。

Check!



- ① 中央席側のシートスロットに、肩ベルトと腰ベルトが通っていること。
ドア側のシートスロットに、腰ベルトが通っていること。
- ② シートバックルにシートタングが確実に留まっていること。
- ③ 腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通っていること。
腰ベルトにねじれ、たるみがないこと。
- ④ 肩ベルトが正しく肩ベルトガイドを通りかつ高さが適切になっていること。
肩ベルトの位置（左右）が適切な状態に調節されていること。
肩ベルトにねじれ、たるみがないこと。
- ⑤ シートスロットにシートバックルが干渉する座席では使用しないでください。
シートバックルのベルトが長すぎる（または位置が高すぎる）、シートバックルの位置が前すぎる場合、シートスロットに干渉するおそれがあります。



10

お子さまにシートバックルに手を触れないよう言い聞かせてご使用ください。
お子さまがシートバックルに手を触れ、バックルを外してしまうおそれがあります。

警告

シートベルトは常に正しい状態で使用すること

お子さまがシートバックルに手を触れてバックルを外してしまったり、シートベルトから抜け出そうとしたりするおそれがあります。常日頃から、シートバックルには手を触れないよう、シートベルトを正しく装着しておくよう言い聞かせて、本製品の使用中は適宜安全の確認をするようにしてください。

ポイント!

お子さまが自分で乗り降りできるようになってからも、大人の監視のもとで乗り降りさせるようにして、本製品の操作は大人の方が行ってください。

お子さまは大人と違い、成長が早く体型も日々変化します。お子さまを乗せ降ろしするたびに、肩ベルト（ヘッドレスト、肩ベルトガイド）の高さが適切かどうか確認するようにして、必要に応じて調節するようにしてください。

11

お子さまを降ろす場合は、シートベルトのバックルを外してお子さまを降ろしてください。ブースターモードの場合、本製品はお子さまが乗っていない状態では自動車の座席に固定されません。

お子さまを降ろしたら、本製品を車室外に出すか適切に固定するなどしておいてください。

お手入れのしかた

本製品では、お手入れのためシートのカバーを取り外すことができます。お手入れ後は、取り外したカバーを必ず元に戻してください。

警告

カバーを取り外した状態で使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、カバーを取り外して使用しないでください。また、本製品に取り付けられている発泡ウレタン等の衝撃吸収材（EPP / EPS フォーム 白い衝撃緩衝材）は安全に関わる重要な部品ですので、絶対に取り外さないでください。

また同様に、本製品に縫い付けまたは貼られているラベルやシールも本製品の適合する安全基準で規定されている重要な部品ですので、決してはがさないでください。

カバーを外した状態の本製品および取り外したカバーはお子さまの手の届かない場所に置いておくこと

お子さまが本製品の機構部や隙間（ハーネス部やリクライニング機構部など）に手や指を差し入れてケガをするおそれがあります。

お手入れ等のため、カバーを外したら、取り付けなおすまでの間は、お子さまの手の届かない場所で保管するようにしてください。

またカバーはお子さまの手の届かない場所でお手入れしてください。

⚠注意

カバーの取り付け、取り外しは、慎重に作業してください

カバーが引っかかった感じがする場合、無理をせず、引っかかった場所がないかを確認するようにしてください。

本製品に取り付けてある発泡ウレタン等の衝撃吸収材に傷をつけないように注意してください。

カバーを取り外した状態の本製品を操作しないでください

ケガや破損のおそれがあります。カバーを取り付けなおすまでの間は本製品を操作しないようにしてください。

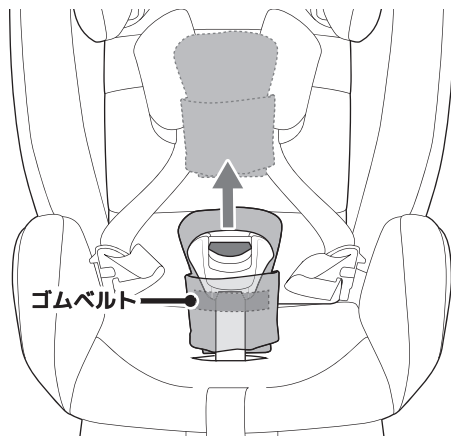
カバー類、パッド類の取り外し

01

ブースターモードになっている場合は、股ベルトパッドは取り外されていますので、肩ベルトパッド、カバー類の取り外し部分を操作してください。

02

バックルを外して、股ベルトパッドを抜き取ります。股ベルト(受けバックル)は、股ベルトパッドの内側のゴムベルトを通して固定されています。ゴムベルトから股ベルトを抜くようにして股ベルトパッドを取り外してください。



👉ポイント!

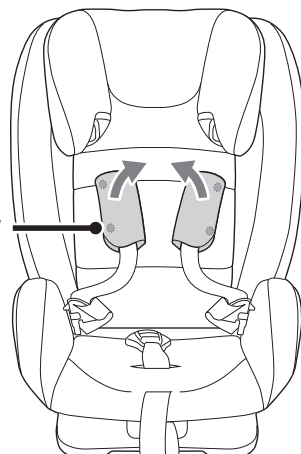
股ベルトパッドを取り付けなおす際には、股ベルト(受けバックル)を股ベルトパッドの内側のゴムベルトを通すようにしてください。ゴムベルトに通っていないと使用中に股ベルトパッドが抜け落ちるおそれがあります。



03

左右の肩ベルトパッドの外側上下で留めてあるスナップボタンを外します（合計4か所）。

スナップボタン



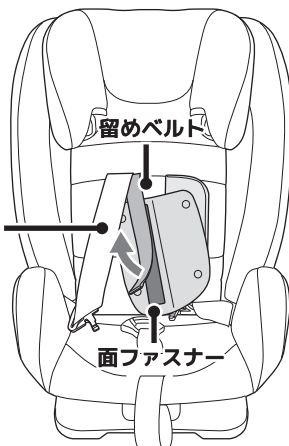
04

肩ベルトパッドは、肩ベルト（ハーネス）ではなく、肩ベルトの下側にある留めベルトに面ファスナーで留められています。留めベルトを外して、肩ベルトパッドを取り外します。左右とも同じようにしてください。

肩ベルト

留めベルト

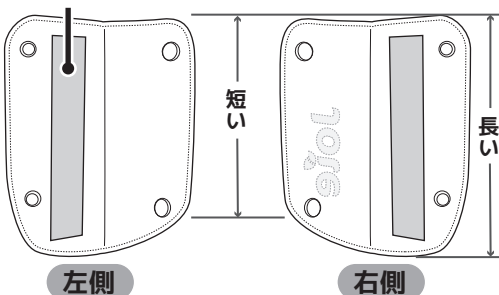
面ファスナー



ポイント!

肩ベルトパッドには左右、上下があります。取り付けの際は、右図を参照して正しい向きで取り付けてください。滑り止め加工されている側をお子さま側にし、面ファスナー側を外側にします。Joie のロゴが入った肩ベルトパッドを向かって右側にして取り付けます。留めベルトに面ファスナーを合わせて留めて、肩ベルトを挟むようにして、スナップボタンを留めてください。

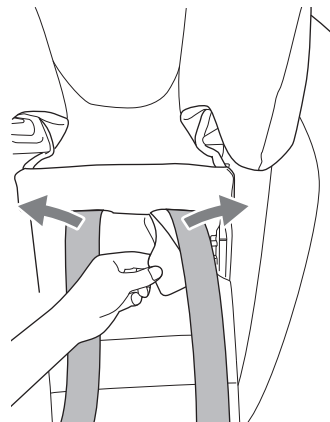
面ファスナー



取り付ける場合は、留めベルトを肩ベルトパッドの面ファスナー全体にさせるようにして合わせて留めて、肩ベルトを挟むようにして、スナップボタンを留めてください。

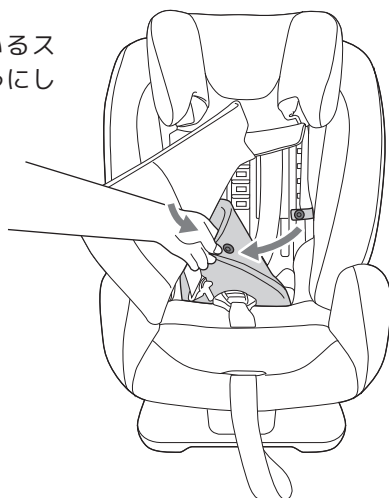
05

肩ベルト（ハーネス）をヘッドレスト下部の隙間（肩ベルトが通されている部分）から外側に抜いて外します。左右とも同じようにしてください。



06

本製品の背もたれの上下中央あたりに留められているスナップボタン（左右）を外します。左右とも同じようにしてください。



07

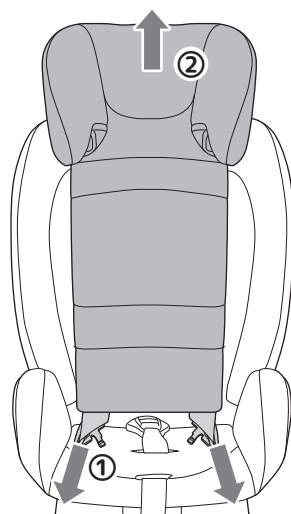
①肩ベルト（ハーネス）をゆるめて、②ヘッドレストを最も高い位置に調節します。

参照 P24 ▶肩ベルト（ハーネス）の長さ調節

参照 P25 ▶ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節

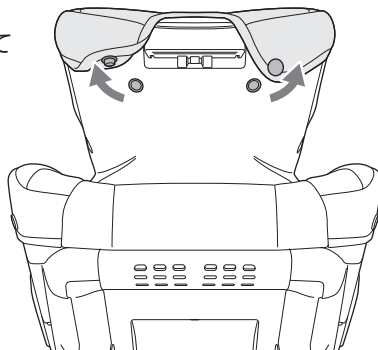
👉ポイント!

引っかかった感じがして、ヘッドレストが高い位置に調節できない場合は、肩ベルト（ハーネス）をさらにゆるめてください。



08

ヘッドレスト上部背面でヘッドレストのカバーを留めているスナップボタン（2カ所）を外します。



09

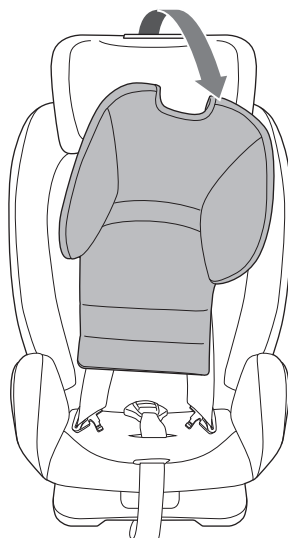
ヘッドレストのカバーをゆっくりと前方向に取り外します。

⚠注意

衝撃吸収材に注意してください

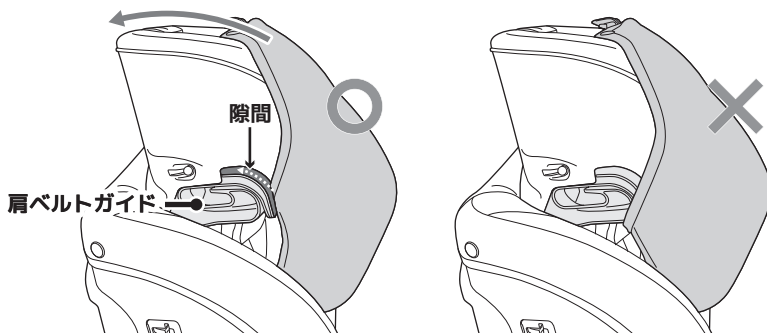
カバーが引っかかった感じがする場合、無理をせず、引っかかった場所がないかを確認するようにしてください。

ヘッドレストに取り付けてある、発泡ウレタン等の衝撃吸収材に傷をつけないように注意してください。



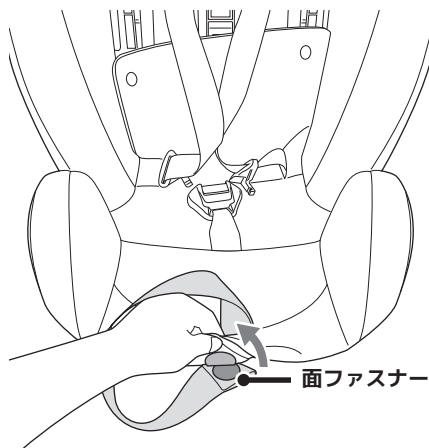
👉ポイント!

ヘッドレストのカバーを取り付ける際には、肩ベルトガイドの上部とヘッドレストの隙間に、カバーの縁を差し入れるようにして取り付けてください。



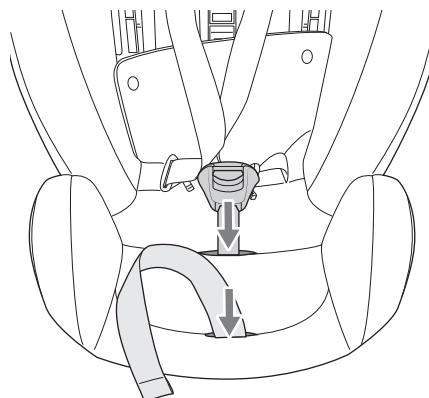
10

本製品の座面部先端のカバーの生地をめくって、アジャストベルトの先端とカバーを留めている面ファスナーを外します。



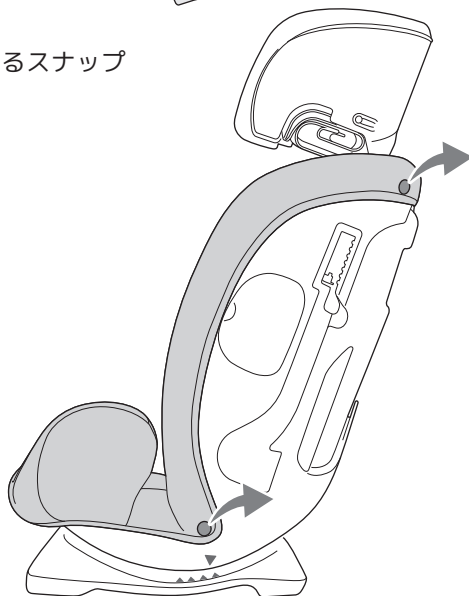
11

受けバックル（股ベルト）、アジャストベルトをそれぞれ、カバーの通し穴から抜きます。



12

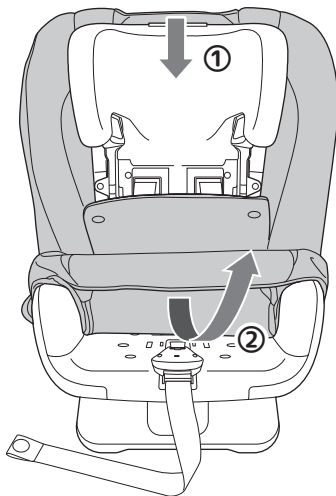
シート側面の上部、下部の左右に留められているスナップボタン（合計4カ所）を外します。



13

- ①ヘッドレストを低い位置に調節してください。
- ②シート前端部のカバーを外して、めくります。

参照 P25 ▶ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節



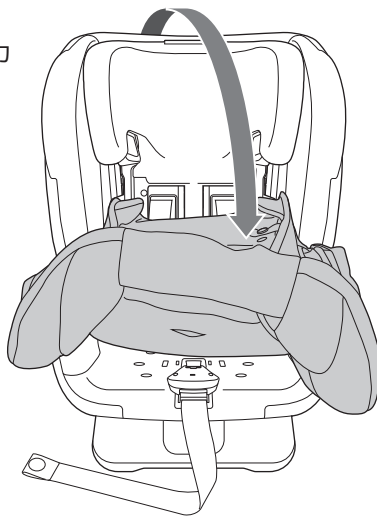
14

ヘッドレストから抜くようにして、前方に向かってカバーを取り外します。

⚠ 注意

衝撃吸収材に注意してください

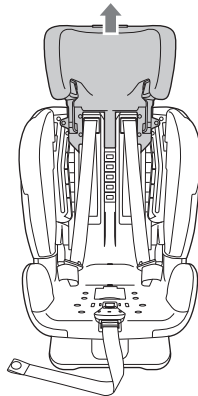
カバーが引っかかった感じがする場合、無理をせず、引っかかった場所がないかを確認するようにしてください。本体に取り付けてある発泡ウレタン等の衝撃吸収材に傷をつけないように注意してください。



👉 ポイント!

カバーを取り付ける際には、ヘッドレストを最も高い位置に調節しておくと作業がしやすくなります。

参照 P25 ▶ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節



15

カバー類、パッド類の取り付けは逆の手順で行います。

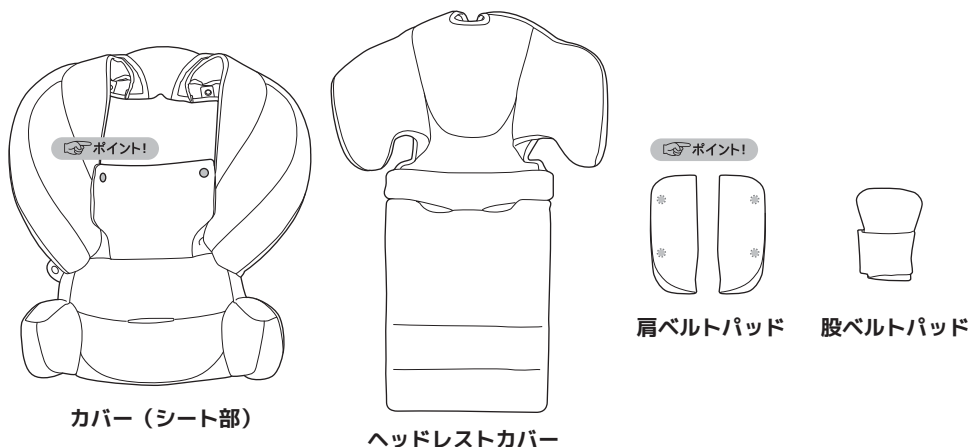
カバー類、パッド類のお手入れ

取り外したカバー類とパッド類は、以下の表示に従ってお手入れしてください。汚れがひどい場合には、薄めた中性洗剤を使用してください。洗剤を使用した場合、水でよくすすぎ、洗剤を完全に落としてください。

⚠️ 注意

指定外の方法で洗濯しないこと

指定外の方法で洗うと、破損や破れ、型崩れ、縮みの原因になります。



👉 ポイント!

カバー（シート部）および肩ベルトパッドのスナップボタンを留めて洗濯してください。破損や、面ファスナーが触れることにより発生する、他のカバーやパッドへのキズを防ぐことができます。

① 液温 30°を限度に、洗濯機で洗うことができます（手洗いをお勧めします）

洗濯機の容量、機種によっては、脱水機能使用時に、重量の偏りにより洗濯機が故障するおそれがあります。脱水時に偏りが発生した場合などは、**30°以下の水温で手洗いしてください。**また、ヘッドレストの下部、シート部のカバーの側面部は変形するおそれがありますので、力が掛からないよう注意して洗濯してください。

② 漂白剤は使用しないでください

劣化を早め、変退色、破損の原因となりますので、塩素系、酸素系の漂白剤は使用しないでください。

③ タンブラー乾燥をしないでください

破損、損傷、縮みの原因となりますので、タンブラー乾燥（乾燥機）はしないでください。

④ しっかりと開いて陰干ししてください

型崩れしないようしっかりと開いて日陰で吊り干ししてください。

⑤ アイロンは使用しないでください

破損、縮み、生地が溶ける原因となります。

⑥ ドライクリーニングしないでください

変色、破損、縮みの原因となります。商業クリーニング、ドライクリーニングは避けてください。

⚠ 注意

原液の中性洗剤、有機溶剤を使用しないでください

未希釈の中性洗剤、ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。変質、溶解、破損、損傷のおそれがあります。

きつく絞らないでください

型崩れ、変形の原因となります。

お手入れ後の取り付け

カバー類、パッド類はよく乾かしてから取り付けてください。

本体（シート）のお手入れ

⚠ 危険

潤滑剤を絶対に使用しないこと

お手入れやメンテナンス時にシリコンオイル、グリース、ミシン油などの潤滑剤を絶対に使用しないでください。

潤滑剤が付着すると本製品が変質、破損したり、安全に機能しなくなったりするおそれがあります。

樹脂部分・衝撃吸収材

01

表面の汚れは、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。衝撃吸収材は特にやさしくお手入れしてください。

洗剤類は使用しないでください。内部や、手の届かない場所のお手入れは、市販のエアダスターを使用するか、掃除機を使用してゴミやほこりを吸い取るようにしてください。

⚠ 注意

洗剤類、ウエットタオルは使用しないでください

洗剤類、市販のウエットタオル（ウエットティッシュ）、赤ちゃんのお尻ふき、などは使用しないでください。含まれる成分によって、樹脂や衝撃吸収材に影響を与えるおそれがあります。劣化、変質、溶解の原因になる可能性があります。特に、**衝撃吸収材は溶解するおそれがありますのでご注意ください。**

金属部分

01

金属部分は、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。食べかすなど油分を含む汚れを落とす場合には、薄めた中性洗剤を溶かした水につけ、良く絞った柔らかいタオルで汚れをふき取るようにしてお手入れしてください。中性洗剤を使用した場合は、お手入れ後に洗剤をよくふき取ってください。

⚠危険

水を直接かけないでください

サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。
水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。

ハーネス・バックル

01

表面の汚れは、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。受けバックルの内部のお手入れは、市販のエアダスターを使用するか、掃除機を使用してゴミやほこりを吸い取るようにしてください。

⚠危険

水を直接かけないでください

サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。
水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。

潤滑剤を絶対に使用しないこと

お手入れ、メンテナンス時にシリコンオイル、グリース、ミシン油などの潤滑剤や、その他潤滑性のある物質を含む洗剤等を絶対に使用しないでください。潤滑剤に限らず潤滑性のある洗剤等の物質が付着すると、バックルが正しく機能しなくなり思わぬ事故につながるおそれがあります。

除菌・抗ウイルス製品の使用にあたっての注意

除菌・抗ウイルスのスプレー、ミスト、ジェル等の製品には、本製品の縫製品、樹脂、金属に影響を与える成分が含まれている可能性があります。本製品に対する使用にあたっては、あらかじめこれらの製品のメーカーにお問い合わせの上、影響の有無等をご確認ください。

保管のしかた

長期間ご使用にならない場合は、自動車から取り外しておいてください。

直射日光を避けて、寒暖差および湿気の少ない室内のお子さまの手の届かない場所で保管してください。

雨風のあたる場所、露天では保管しないでください。

廃棄のしかた

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指示に従い、正しく廃棄するようにしてください。

また、再利用による事故を防ぐため「廃棄品」と明示しシートを破るなどして、再利用を不可能な状態にして廃棄するようお願いいたします。

保証書

保証期間	お買い上げ日より1年間		
製品名	ジョイー・チャイルドシート フォーターティファイ		
お買い上げ日			
お客様	ご住所 〒 -	お買い上げ 販売店名	店名 住所 電話番号
	お名前 電話番号 - -		

本製品の保証は、規定の内容に従いお買い上げ日から1年間有効となります。お買い上げ日やお買い上げいただいた販売店名が不明の場合保証の対象となりませんので、お買い上げいただいた際のレシートや領収書等を本取扱説明書と一緒に保管するようにしてください。

- 保証期間中に正常な使用状態において、万が一故障が発生した場合には無償で修理いたします。ただし、ご購入時の初期不良の場合を除いて、修理に要する送料はお客様にご負担いただきます。
- 保証期間内であっても次のような場合には、有償での修理となります。
 - ・ 本保証書原本の提示がない場合（コピーされた保証書は無効です）および記入事項の字句に書き換えが認められる場合
 - ・ お客様のご購入を証明することができない場合
 - ・ 本取扱説明書および製品本体に表記されている指示内容に従わなかったために生じた故障、破損、不良の場合

- ・ 正常な使用、お手入れにより生じた傷や汚損、破損、日焼けによる表面の劣化、シートカバー類等縫製品のほつれの場合
- ・ 部品の紛失の場合

3. 次のような場合には、安全のため、保証期間、有償、無償に関わらず修理することができません。

- ・ 事故や落下などの強い衝撃を受けたことにより生じた故障、破損、破損、汚損の場合
 - ・ 誤使用、または改造、不当な分解によって生じた故障、破損、破損、汚損の場合
 - ・ 本保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記載のない場合
 - ・ 並行輸入品や海外で購入された製品の場合
 - ・ 業務用、レンタル等、一般家庭外で使用されている場合
 - ・ 中古品の場合
 - ・ 本製品に貼り付けられているシール類がはがされている場合
 - ・ 本製品の製造が終了し、修理に必要な部品が無い場合
4. 本製品を正しく使用することにより生じた、自動車の座席表面やシートベルトの傷、取り付けあと等は保証いたしかねます。
5. 一度でもご使用になった製品のお取り換えはできません。
6. 保証は日本国内においてのみ有効です。

本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※製品は万全を期して製造しておりますが、万が一不都合な点がございましたら弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

※性能向上のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

※本書に記載いただいた個人情報につきましては、個人情報保護法の規定を準拠し、本保証に関わる範囲においてのみ使用いたします。

(本製品に関するお問い合わせ先)

株式会社カトージ お客様サービス

電話：0568-67-5701 平日10~17時（土日祝日を除く）

www.katoji.co.jp

(Joie日本総代理店)

株式会社カトージ 〒484-0894 愛知県犬山市羽黒北金屋39-2

シート等を貼り付けてください

Allison GmbH
Adam-Opel-Straße 21 67227
Frankenthal



bring the kids™
Share the joy at joiebaby.com